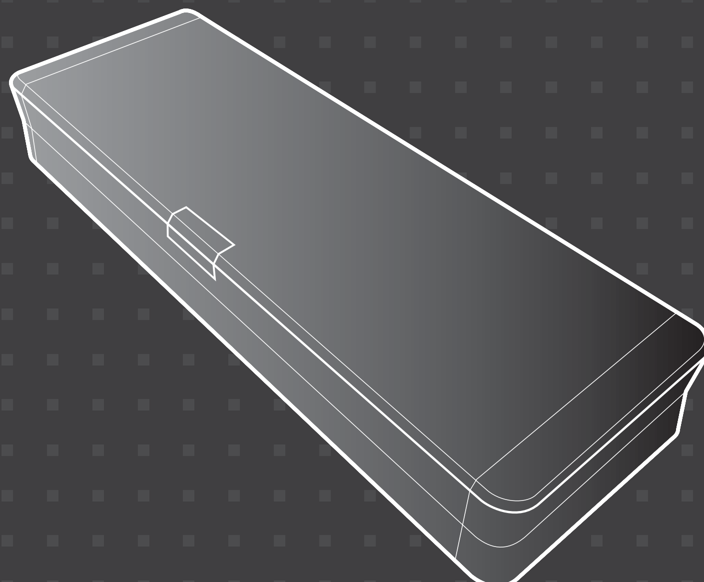
Canon

imageFORMULA
DR-150

ユーザーマニュアル
（機能詳細編）



・ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
・将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

ENERGY STAR

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Macintosh および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。
また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。
なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください。

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合にのみソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともにお買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン電子株式会社（以下キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを 1 コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア·プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置 1 台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

3. 保証

キヤノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から 90 日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。

この保証は、「許諾プログラム」に関するキヤノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

4. サポートおよびアップデート

キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

5. 保証の否認・免責

(1) 第 3 項に定める場合を除き、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

7. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させせることができます。
(3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
(4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
(5) 本契約は、上記 (2)、(3) または (4) により終了するまで有効に存続します。上記 (2)、(3) または (4) により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
(6) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

8. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口頭によるすべての事前および同時発生の理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合にのみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

はじめに

このたびはキヤノンドキュメントスキャナー imageFORMULA DR-150 をお買い求めいただきありがとうございます。
本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

マニュアルの構成

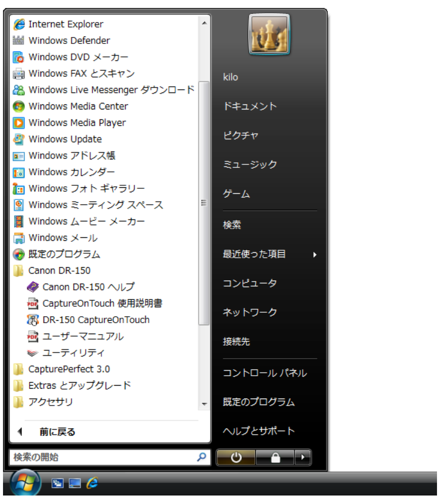
本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

● **ユーザーマニュアル（基本操作編）**
本機のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本機を使い始めるときにお読みください。

● **ユーザーマニュアル（機能詳細編）（本書）**
本機の操作方法が記載されたマニュアルです。

ヒント

- すべてのマニュアルが、PDF 形式の電子マニュアルとしてセットアップディスクに収録されています。
- Windows でご使用の場合、ユーザーマニュアル（電子マニュアル）が、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されます。



マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

（P. xx）
参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

警告
取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意
取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要
操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

ヒント
操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

本書の構成

本書は、次の内容で構成されています。

■ 準備

本機の特長、各部の名前と機能、セットアップ方法について説明しています。

■ 原稿について

取り扱うことができる原稿の種類やセットのしかたを説明しています。

■ スキャンのしかた

付属ソフトウェアを使用した原稿のスキャンのしかたを説明しています。
スキャン時のドライバの設定についても説明します。

■ メンテナンス

スキャナーのお手入れ方法と消耗品の交換方法を説明しています。

■ トラブルシューティング

トラブルが起きたときの対処方法について説明しています。

■ 付録

本機の仕様や、保証に関する情報が記載されています。

目次

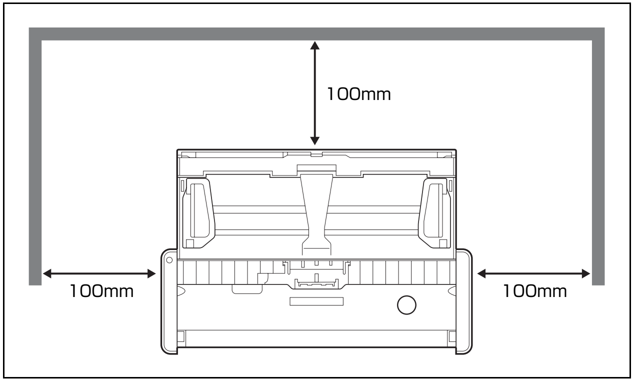
安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

● 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



● 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
● 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
● ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
● 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
● 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
● 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温　15 ℃～ 32.5 ℃
湿度　25%（RH）～ 80%（RH）
● スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

本機の移動について

● 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。本機の質量は約 1.0kg です。
● 本機を移動する場合は、USB ケーブルや AC アダプタ（別売り）を、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。

AC アダプタ（別売り）について

● AC アダプタ（別売り）を使用して本機を使用するときは、AC アダプタの取扱説明書をよくお読みください。
● 指定されたACアダプタ以外は使用しないでください。また、ACアダプタを他の製品に使用しないでください。
● USB ケーブル 1 本の場合で、高速に動作させたい場合は、AC アダプタをご購入ください。
● 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

日常の取り扱いについて

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブル以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。USB ケーブルを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルが抜けるように、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルの周りには物を置かないでください。非常時に USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

特長

本製品には以下の特長があります。

コンパクトサイズ

給排紙トレイを閉じた状態で幅 280 mm ×高さ 40 mm ×奥行き 95 mm のコンパクトサイズです。

バスパワー駆動

電源がないところでも、USB ケーブル 1 本によるバスパワー駆動で、モノクロ 12 枚／分 [1)]、カラー 10 枚／分 [2)] の速度でスキャンできます。

Auto Start 機能（Windows のみ）

背面の Auto Start スイッチを「ON」にすると、スキャナーに内蔵されているソフトウェア「CaptureOnTouch Lite」を起動できます。ドライバがインストールされていない環境でも、コンピュータをスキャナーに接続するだけでスキャンが可能です。

自動電源オン／オフ

給紙トレイの開閉に連動して自動的に電源がオンまたはオフになります。

フィーダー搭載

標準的な厚さの原稿を 20 枚までセットし、連続または一枚ずつ給紙できます。

高速スキャン

給電用 USB ケーブルまたは AC アダプタ（別売り）の併用で、高速（モノクロ 15 枚／分 [1)]、カラー 10 枚／分 [3)]）にスキャンできます。

CaptureOnTouch 同梱

同梱のソフトウェア CaptureOnTouch をインストールすることで、通常のスキャンだけでなく、ジョブの登録による一連の手続きのスキャンまで、多彩なスキャン方法でスキャンできます。

カラー／グレースケール対応

原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールでスキャンできます。

両面スキャン

片面または両面スキャンに対応しています。白紙のページのスキャン画像の保存をスキップする「白紙スキップ機能」を使用することで、原稿が片面か両面かを気にせずにスキャンできます。

原稿サイズ自動検知

スキャンした原稿の用紙サイズを自動的に検知できます。定形外のサイズの原稿でも周囲の余白を省いてスキャンできます。

斜行補正

原稿が斜めに給紙された場合でも、スキャン画像をまっすぐに補正できます。

文字強調モード

背景が均一で、文字・背景がともに薄い原稿を、文字が読みやすくなるようにスキャンする「アドバンストテキストエンハンスメント II」を備えています。[4)]

ドロップアウトカラー

原稿の特定の色（赤、緑、青のいずれか）だけを読み取らないようにできます。

プレスキャン

原稿の最初のページだけをスキャンし、そのスキャン画像を確認して明るさとコントラストを調整してから残りの原稿をスキャンできます。

おまかせスキャン

スキャナーのスタートボタンを押すと、自動的に CaptureOnTouch が起動し、給紙トレイの原稿を「おまかせスキャン」でスキャンします。

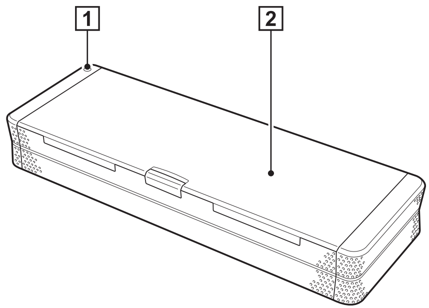
フィーダーの原稿の自動検知

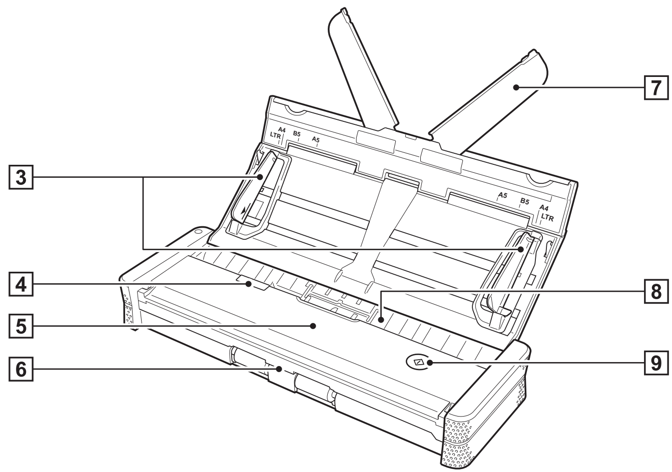
原稿を給紙トレイにセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンを開始する自動スタート機能を備えています。

1) A4 サイズの原稿(片面)を 200 dpi･グレースケールでスキャンした場合。
2) A4 サイズの原稿（片面）を 200 dpi・24 ビットカラーでスキャンした場合。
3) A4 サイズの原稿（片面）を 200 dpi・24 ビットカラーでスキャンした場合。
4) 原稿によっては有効に機能しないことがあります。

各部の名称と機能

前面





1 電源ランプ

本機の電源が入っているときに、次のように本機の状態を示します。

電源ランプの表示	意味
点灯	スキャナーの電源が入っています。
点滅	スキャナーが次のいずれかの状態です。 • 紙が詰まっている • 重送を検知してスキャンを停止している • 上部ユニットを開けている • その他、スキャナーのエラーが発生している

重要

USB ケーブルを接続して給紙トレイを開くと、電源ランプがゆっくり点滅することがあります。点滅が終了して点灯に変わってからスキャナーを使用してください。

2 給紙トレイ

原稿を給紙するためのトレイです。原稿をスキャンするときに開きます。

3 原稿ガイド

原稿がまっすぐに給紙されるようにするためのガイドです（左右に 1 つずつあります）。原稿をセットするときに立てて、スキャンする原稿の両端に合わせます。

4 フィーダーカバー解除レバー

お手入れ時に、このレバーを引いてフィーダーカバーを開きます。

5 フィーダーカバー

お手入れ時に開きます。

6 排紙口

スキャンが終わった原稿が排紙されます。

7 給紙補助プレート

長い原稿をセットする場合に、このプレートを開いて原稿を支えます。

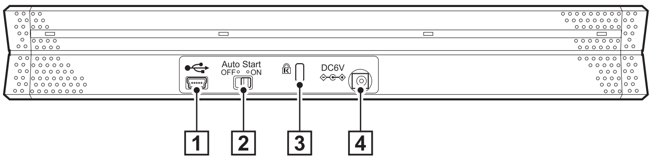
8 **給紙口**

スキャンする原稿を挿入します。

9 **スタートボタン**

給紙トレイにセットされた原稿のスキャンを開始するときに押します。

背面



1 **USB コネクタ**

同梱されている（または Hi-Speed USB 2.0 に対応した）USB ケーブルを接続します。

2 **Auto Start スイッチ**

スキャナーの動作モードを切り替えます。

3 **ケンジントンスロット**

キーチェーンなどを接続して盗難を防止します。

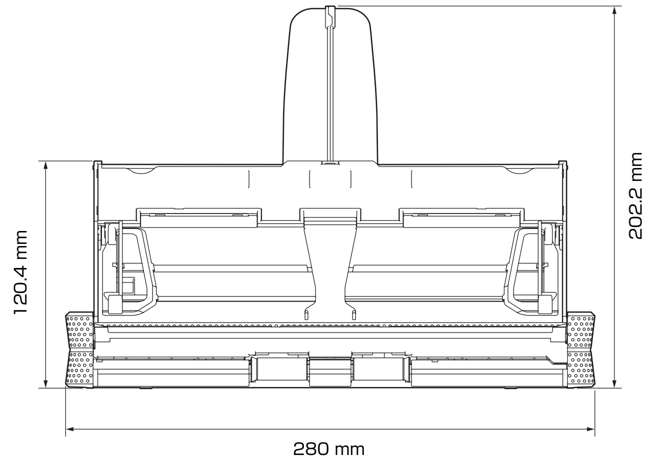
4 **電源コネクタ**

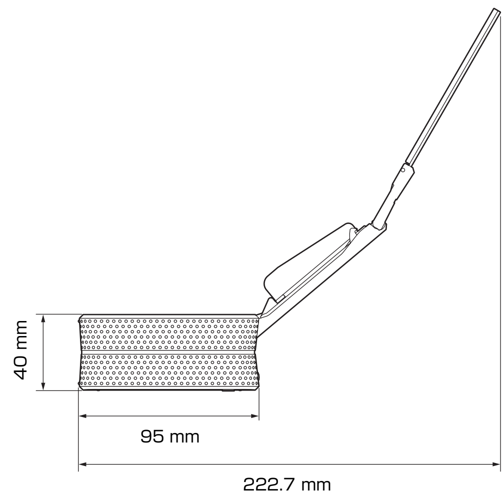
付属の給電用 USB ケーブル、または別売りの AC アダプタを接続します。

ヒント

本機には電源スイッチはありません。詳細は 18 ページを参照してください。

外形寸法図





セットアップ

動作環境

本製品を快適にお使いいただくためには、次のシステム要件を推奨します。

Windows

パーソナルコンピュータ

CPU：	Intel Core 2 Duo 1.8GHz 以上
メモリ：	1GB 以上
ハードディスク：	1GB 以上の空き容量
USB インタフェース：	Hi-Speed USB2.0
モニタ：	解像度 1024 × 768（XGA）以上
光学ドライブ：	DVD の読み取りが可能なドライブ

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 以上
- Microsoft Windows XP Service Pack 3 以上
- Microsoft Windows XP x64 Edition Service Pack 2 以上
- Microsoft Windows Vista Service Pack 2 以上（32 ビット版 /64 ビット版）
- Microsoft Windows 7（32 ビット版 /64 ビット版）

その他

上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。

Mac OS X

オペレーティングシステム

Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6

対応 Macintosh

CPU：	Core 2 Duo 2.4 GHz 以上
メモリ：	1GB 以上
ハードディスク：	1GB 以上の空き容量
光学ドライブ：	DVD の読み取りが可能なドライブ

ソフトウェアのインストール

同梱されているソフトウェアセットアップディスクから、スキャナーを使用するために必要となる次のソフトウェアをインストールします。

- **CaptureOnTouch**
  本製品専用のスキャニングユーティリティです。
- **スキャナードライバ**
  本製品のスキャナードライバです。

バンドルソフトウェアについて

ソフトウェアセットアップディスクには、必要に応じてインストールできる下記のソフトウェアが収録されています。

- **やさしく名刺ファイリングエントリー**
  日本語 OCR 機能付き名刺管理ソフトウェアです。
- **やさしく家計簿 エントリー**
  家計簿ソフトウェアです。
- **PaperPort®**
  文書ファイリングソフトウェアです。
- **Evernote**
  メモ管理ソフトウェアです。

ヒント

Evernote以外のバンドルソフトウェアはWindows版のみの提供となります。

Windows でのインストール

重要

- ソフトウェアのインストールは、本機とコンピュータを接続する前に行ってください。
- Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

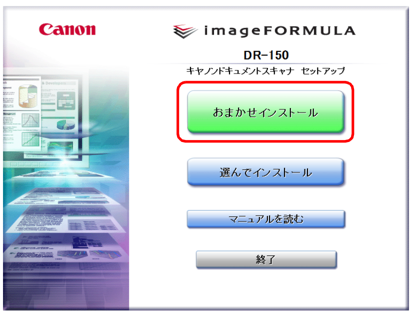
ヒント

スキャナーに内蔵されている CaptureOnTouch Lite のみを使用する場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。

1 コンピュータの電源をオンにします。

2 ソフトウェアセットアップディスクをコンピュータのDVD ドライブにセットします。

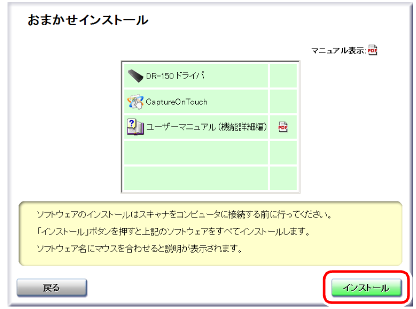
3 [おまかせインストール] をクリックします。



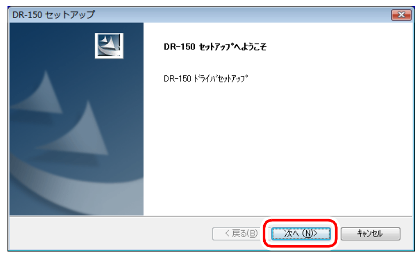
ヒント

アンインストールしたソフトウェアを再インストールするときは、「選んでインストール」をクリックし、アンインストールしたソフトウェアを指定してください。

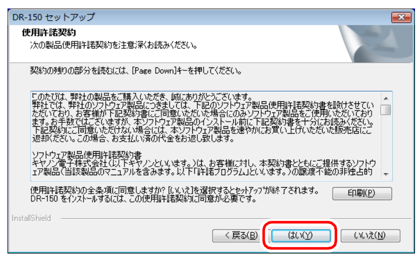
4 [インストール] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。



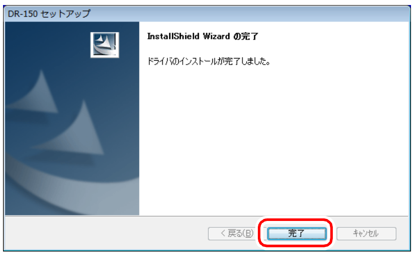
6 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は [はい] をクリックします。



7 ［次へ］をクリックします。



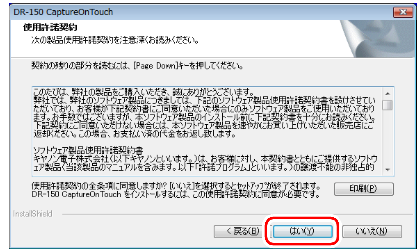
8 ドライバのインストールが完了したら、［完了］をクリックします。



9 ［次へ］をクリックします。



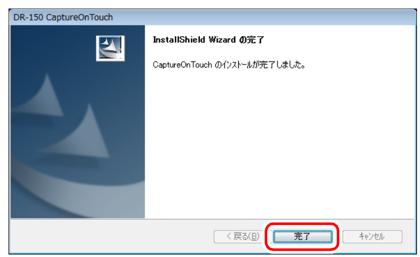
10 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は［はい］をクリックします。



11 ［次へ］をクリックします。



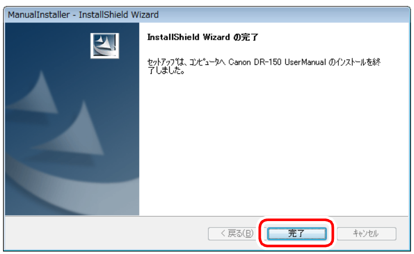
12 CaptureOnTouch のインストールが完了したら［完了］をクリックします。



13 [次へ] をクリックします。



14 ユーザーマニュアルのインストールが完了したら [完了] をクリックします。



15 [終了] をクリックしてソフトウェアのインストールを終了します。



16 ソフトウェアセットアップディスクをDVDドライブから取り出します。

バンドルソフトウェアのインストールについて

バンドルソフトウェアをインストールする場合は、手順 3 で [選んでインストール] を選択することで、バンドルソフトウェアを選択してインストールできます。

ヒント

Evernote を選択した場合、インストール中に Web ブラウザが起動し、ソフトウェアダウンロード用の Web ページが表示されます。Web ページの指示に従ってダウンロードとインストールをしてください。
なお、Evernote のインストールには、インターネットに接続できる環境が必要です。

Mac OS X でのインストール

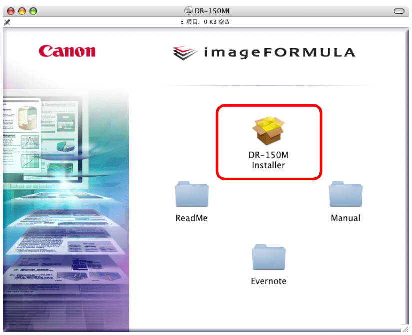
重要

- ソフトウェアのインストールは、本機とコンピュータを接続する前に行ってください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

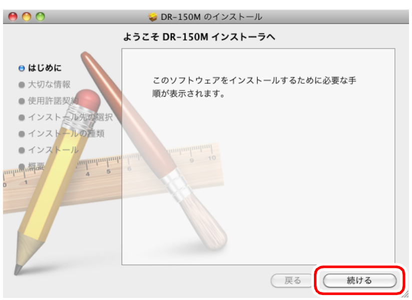
1 コンピュータの電源をオンにします。

2 ソフトウェアセットアップディスクをコンピュータのDVD ドライブにセットします。

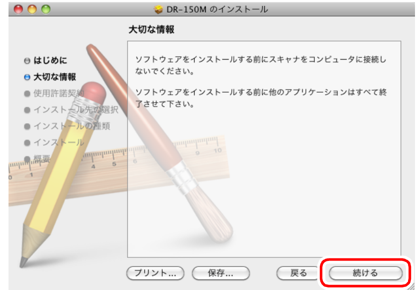
3 [DR-150M Installer] をクリックします。



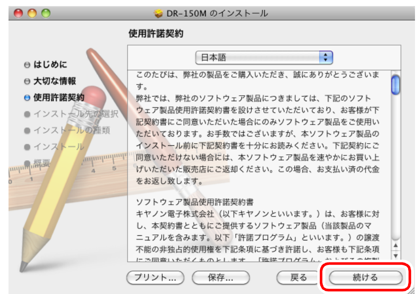
4 [続ける] をクリックします。



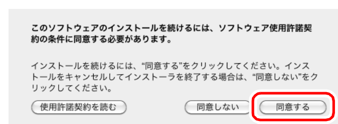
5 [続ける] をクリックします。



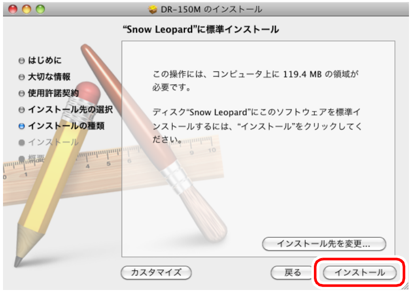
6 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は [続ける] をクリックします。



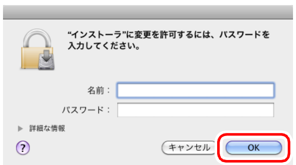
7 [同意する] をクリックします。



8 ［インストール］をクリックします。



9 管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力してから、［OK］をクリックします。



10 インストールが完了したら、［閉じる］をクリックします。



バンドルソフトウェアのインストールについて

バンドルソフトウェアをインストールする場合は、手順 3 で［DR-150M Installer］を選択する代わりにソフトウェアが収録されたフォルダを開くことで、バンドルソフトウェアを選択してインストールできます。

ヒント

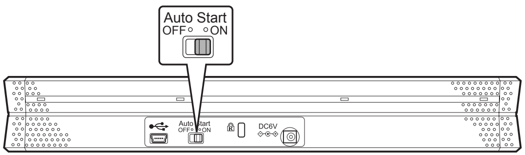
- Evernote を選択した場合、インストール中に Web ブラウザが起動し、ソフトウェアダウンロード用の Web ページが表示されます。Web ページの指示に従ってダウンロードとインストールをしてください。
  なお、Evernote のインストールには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- Mac OS X 10.4.x（Tiger）の場合、Evernote のインストールはできません。

コンピュータとの接続

スキャナーをコンピュータに接続するには、同梱の USB ケーブルを使用します。このとき、スキャナーの使用方法に応じて、背面の Auto Start スイッチを切り替える必要があります。

Auto Start スイッチについて

スキャナーの背面には、スキャナーをストレージデバイスとして動作させるかどうかを切り替えるための Auto Start スイッチがあります。



Auto Start スイッチの位置によって、スキャナーは次のように動作します。

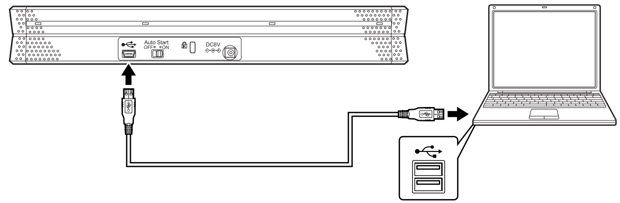
スイッチの位置	スキャナーの動作
ON	本機がストレージデバイスとしてコンピュータに認識されます。スキャナーに内蔵されているソフトウェア CaptureOnTouch Lite を起動して、スキャナードライバをインストールしていないコンピュータでもスキャンができます。（Windows のみ。また、スキャナ本体にスキャン画像などのデータを保存することはできません。）
OFF	本機がスキャナーデバイスとしてコンピュータに認識されます。スキャナードライバがインストールされているコンピュータに接続して、同梱の CaptureOnTouch などのアプリケーションを使用してスキャンできます。

重要

- Auto Start スイッチの切り替えは、コンピュータに接続する前に行ってください。コンピュータに接続した後で Auto Start スイッチを切り替えると正常に動作しないことがあります。
- Auto Start スイッチを「ON」にして使用する場合、スキャナーをコンピュータに接続する前にコンピュータを起動しておく必要があります。起動していないコンピュータにスキャナーを接続し、スキャナーの給紙トレイを開いて電源を入れた状態では、コンピュータが起動できないことがあります。

コンピュータとの接続

同梱の USB ケーブルで、次のようにスキャナーをコンピュータに接続します。



重要

- スキャン中など、スキャナーとコンピュータの間でデータを転送しているときに、USB ケーブルを抜かないように注意してください。
- スキャナーとの接続に使用するコンピュータの USB コネクタには、500 mA の電源が供給されている必要があります。

USB ハブの使用について

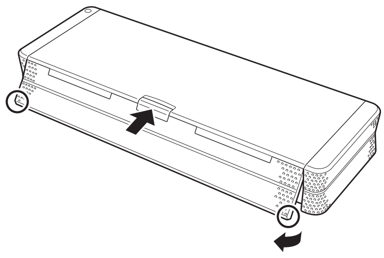
本機は、バスパワータイプの USB ハブを介してコンピュータに接続して使用することはできません。セルフパワータイプの USB ハブは使用できますが、動作を保証するものではありません。

電源について

本機は、給紙トレイの開閉に応じて電源が入るようになっています。電源を入れたり切るときは、次のように操作します。

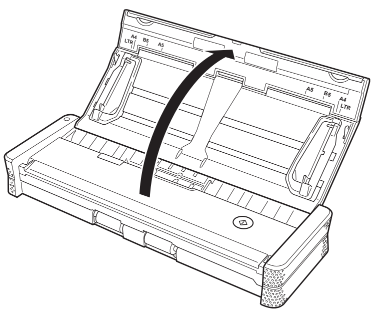
電源を入れる

1 給紙トレイ解除レバーを押し、図の丸い部分を手前に引きます。

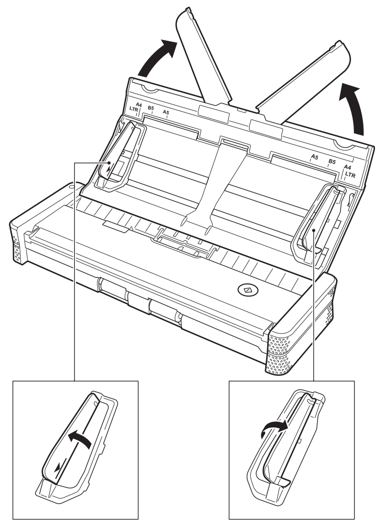


2 給紙トレイを開きます。

スキャナーの電源がオンになり、電源ランプが点灯します。

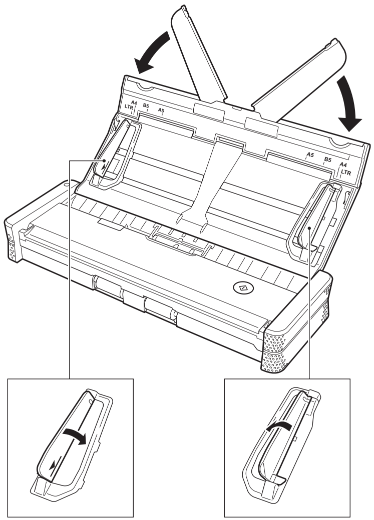


3 原稿ガイドと給紙補助ガイドを立てます。



電源を切る

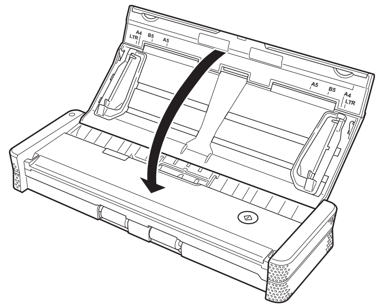
1 給紙補助ガイドを収納し、原稿ガイドを倒します。



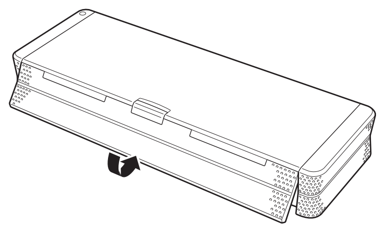
重要

原稿ガイドを開いたまま給紙トレイを閉じないでください。本体に傷が付いたり、故障の原因となります。

2 給紙トレイを閉じます。



3 給紙トレイの手前の部分（前カバー）を押して給紙トレイを閉じます。



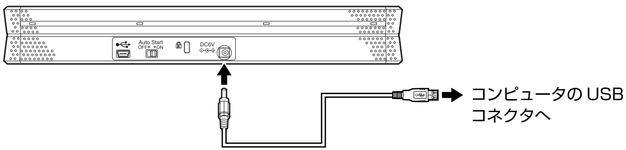
重要

- スキャナーを使用しないときは、スキャナーの給紙トレイを閉じるか、USBケーブルを抜いてください。
- 運搬時は前カバーを開けないでください。給紙トレイが開き落下の原因となります。

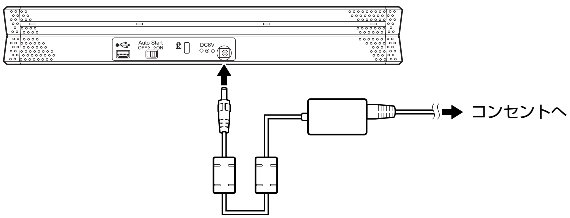
補助電源を使用する

本機はバスパワー駆動により 1 本の USB ケーブルでのスキャンができますが、同梱の給電用 USB ケーブルまたは AC アダプタ（別売り）を使用することにより、より高速にスキャンできます。
給電用 USB ケーブルまたは AC アダプタ（別売り）は、背面の電源コネクタに接続して使用します。

給電用 USB ケーブル



AC アダプタ（別売り）



原稿について

スキャンできる原稿の種類

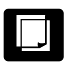
本機は、下記の条件を満たす原稿をスキャンできます。
用紙の種類：普通紙
幅：　50.8 ～ 216 mm
長さ：70 ～ 356 mm
紙厚：52 ～ 128 g/m^2（0.06 ～ 0.15 mm）

重要

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚のサイズが異なる原稿を一度に読み取るときは、原稿がフィードローラーの全幅にかかるようにセットしてください。
- 297 mm（A4 サイズ）を超える原稿は、1 枚給紙を推奨します。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- 薄い紙は、1 枚給紙を推奨します。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。


しわや折り目が入っている。

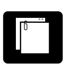

カーボン紙。

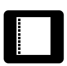

カール（巻き付け）がある。


表面がコーティングされている。


破れている。

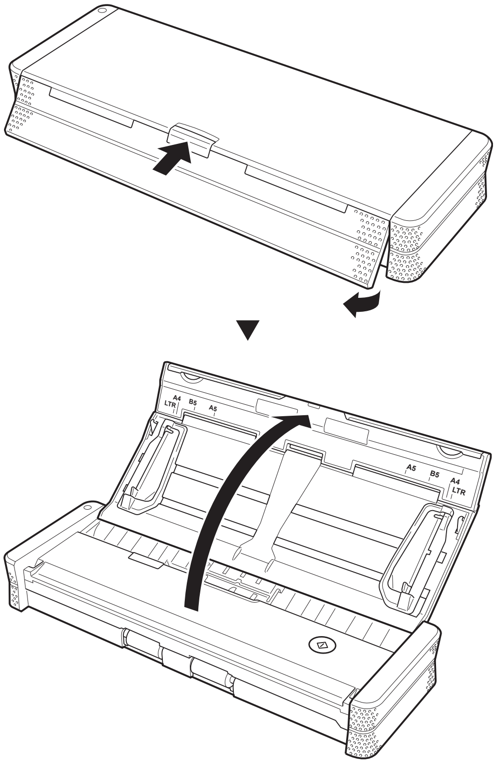

半透明の薄紙など極端に薄い。


クリップやステイプルの針が付いている。

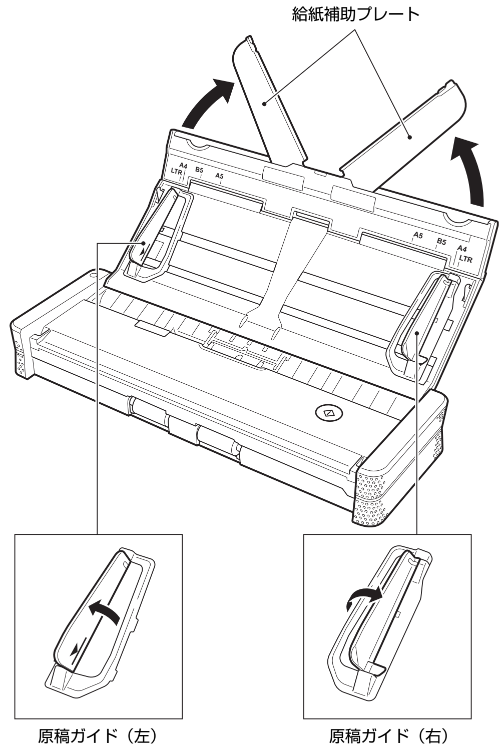

バインダの穴が空いている原稿（直径 8 ㎜ 以下の穴が 2、3、4 つの場合を除く）

原稿のセットのしかた

1 給紙トレイを開きます。

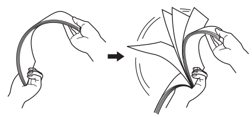


2 原稿ガイドと、給紙補助プレートを立てます。

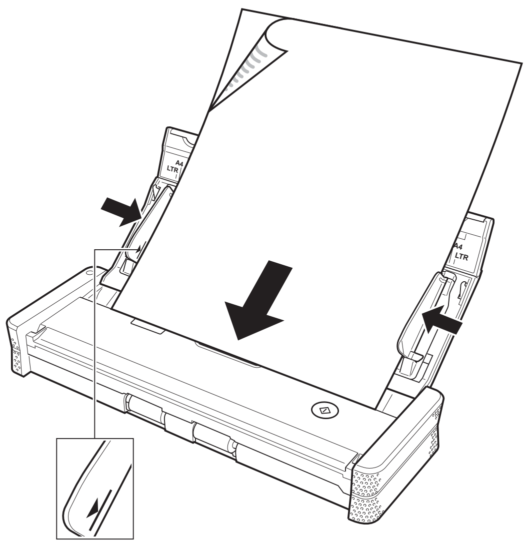


3 原稿をセットします。

- 原稿をよくさばいてからセットしてください。

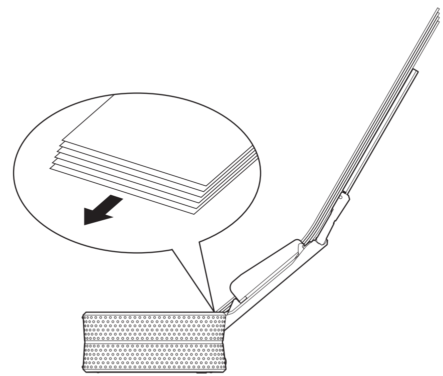


- 原稿の裏面を手前にし、上端から給紙口に挿入してください。
- 原稿ガイドを、セットした原稿の両端に合わせてください。
- 一度にセットできる原稿の枚数は、一般的な普通紙で 20 枚までです。原稿ガイドの積載制限マーク（▼）を超えないようにしてください。

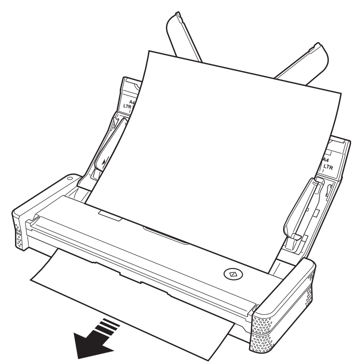


重要

- 複数枚の原稿をセットするときは、先端を少し斜めにずらしてください。



- 原稿が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- スキャンされた原稿が前から排出されます。スキャナーの手前に物を置かないようにしてください。



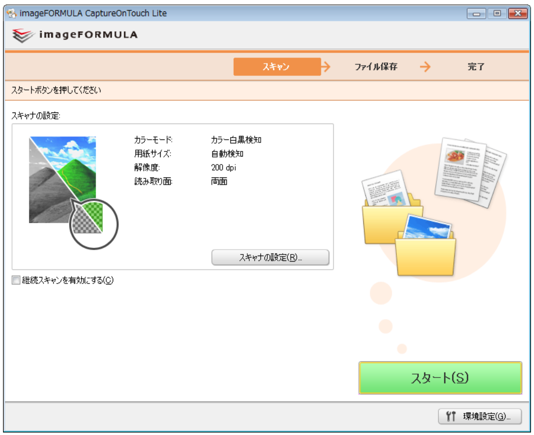
- 重送が起こる場合は、一度にセットする原稿の枚数を減らしてスキャンし直してください。
- 紙の質によっては、給紙時に異音が発生することがありますが、故障ではありません。

付属ソフトウェアについて

本機には、下記のソフトウェアが付属しています。

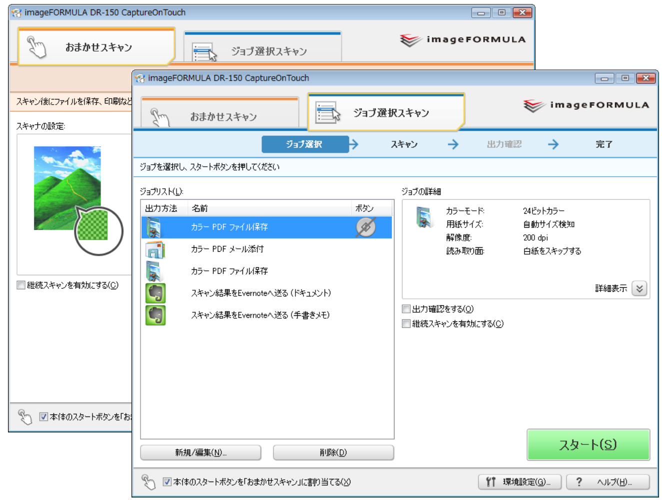
CaptureOnTouch Lite

本機に内蔵されているスキャニングアプリケーションです。ソフトウェアをインストールすることなくスキャンを開始でき、スキャナーを特定のコンピュータに限定せず共有して使用できます。
スキャンした画像は、スキャナーを接続したコンピュータの任意の場所に保存できます。



CaptureOnTouch

本機専用のスキャニングアプリケーションです。スキャン画像を印刷やメール添付などさまざまな方法で出力したり、スキャン条件や出力の設定を「ジョブ」として登録できます。



スキャナードライバ（DR-150 Driver）

本機のスキャナードライバです。ISIS 互換アプリケーションおよび TWAIN 互換アプリケーションでスキャンの操作をするときに、必要に応じて呼び出してスキャン条件を設定します。詳しくは「スキャナードライバの設定」（47 ページ）を参照してください。

重要

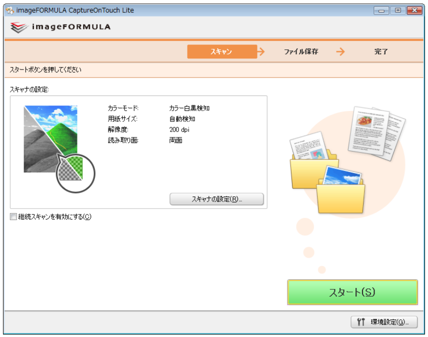
- スキャナードライバは、すべての ISIS または TWAIN 互換アプリケーションでの動作を保証するものではありません。
- CaptureOnTouch Lite は、Windows でのみ使用できます。Mac OS X では使用できません。

ヒント

CaptureOnTouch とスキャナードライバは、ソフトウェアセットアップディスクからインストールする必要があります。インストール方法の詳細は「ソフトウェアのインストール」（14 ページ）を参照してください。

CaptureOnTouch Lite でスキャンする（Windows のみ）

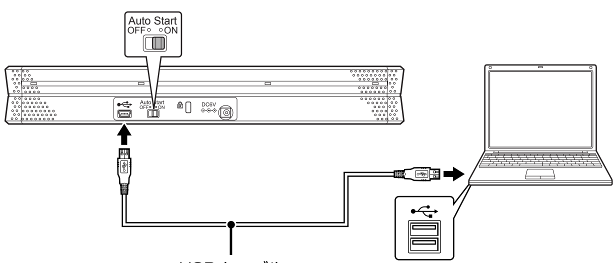
CaptureOnTouch Lite は、スキャナーに内蔵されている簡易スキャニングアプリケーションです。スキャナードライバがインストールされていないコンピュータでも動作します。



画面の指示に従って、簡単な操作で原稿をスキャンし、任意のファイル形式でスキャン画像を保存できます。

スキャンの手順

1 **スキャナーの背面の Auto Start スイッチを「ON」の位置にしてから、スキャナーをコンピュータに接続します。**



必要に応じて、給電用 USB ケーブルを接続してください。

2 **給紙トレイを開いてスキャナーの電源を入れ、原稿をセットします。**

詳細は「原稿のセットのしかた」（25 ページ）を参照してください。

給紙トレイを開くと、スキャナーの電源ランプが点灯し、［自動再生］画面が表示されます。

重要

- CaptureOnTouch Lite でスキャンするときは、ファイルの保存が終わるまで給紙トレイを閉じないでください。
- Windows XP および Windows 2000 をお使いの場合、Auto Start スイッチを「ON」の位置にセットしてスキャナーをコンピュータに接続すると、スキャナーの電源を入れたときにコンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されることがあります。［いいえ］をクリックしてそのまま使用を続けても問題ありません。

3 **［CaptureOnTouch Lite］をクリックします。**



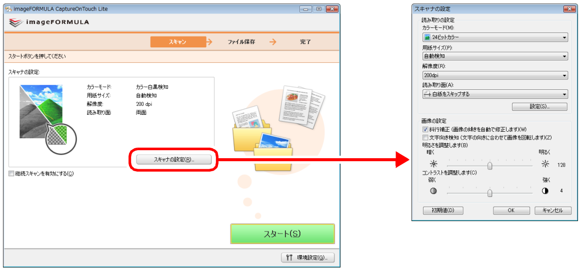
CaptureOnTouch Lite が起動し、メイン画面が表示されます。

ヒント

- お使いの環境によっては［自動再生］画面が表示されないことがあります。Windows エクスプローラなどで「ONTOUCHLITE」と表示されているドライブを開き、（ONTOUCH.exe）を直接ダブルクリックして起動してください。
  なお、OS によってはドライブ名「ONTOUCHLITE」が表示されないことがあります。（ONTOUCH.exe）が存在するドライブを開いて直接起動してください。
- ［自動再生］画面に［CaptureOnTouch Lite］が表示されないことがあります。この場合は［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックしてフォルダを開き、（ONTOUCH.exe）をダブルクリックしてください。

4 スキャン条件を設定します。

[スキャナの設定] をクリックし、表示されるダイアログボックスでスキャン条件を設定します。



[カラーモード]

原稿をスキャンするモード（カラー、グレースケール、白黒二値）を指定します。原稿がカラーか白黒かを自動的に検知してスキャンするときは「カラー白黒検知」を指定します。

[用紙サイズ]

原稿の用紙サイズを指定します。

[解像度]

スキャンの解像度を指定します。

[読み取り面]

片面または両面のどちらでスキャンするかを指定します。[白紙をスキップする］を指定したときは、原稿中の白紙のページを飛ばしてスキャンします。

[斜行補正]

スキャン画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

[文字向き検知]

スキャン画像上の文字の向きを認識し、文字が正しい向きになるように画像を回転して保存します。

[明るさを調整します]

スキャン画像の明るさを調整します。

[コントラストを調整します]

スキャン画像のコントラストを調整します。

[初期値]

すべての設定を初期値に戻します。

設定が終わったら［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

ヒント

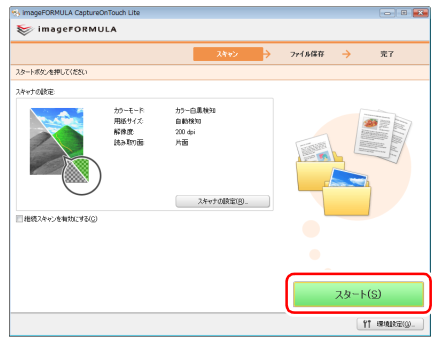
複数の原稿を分割してスキャンするときは、メイン画面の［継続スキャンを有効にする］チェックボックスをオンにしてください。

重要

コンピュータのメモリを大量に使用する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

5 ［スタート］をクリックします。

またはスキャナーのスタートボタンを押します。



原稿のスキャンが開始します。

すべての原稿のスキャンが終わると、出力設定画面が表示されます。

ヒント

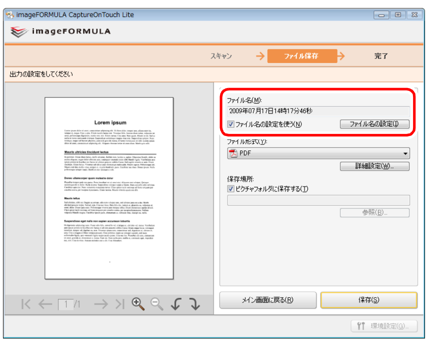
［継続スキャンを有効にする］チェックボックスをオンにしてスキャンしたときは、すべての原稿のスキャンが終わったときに、継続確認画面が表示されます。



次の原稿をセットしてから［続けてスキャンする］をクリックすると、原稿のスキャンが開始します。

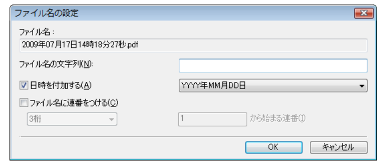
原稿をすべてスキャンし終わったときは、［次のステップに進む］をクリックしてください。

6 保存するスキャン画像のファイル名を設定します。

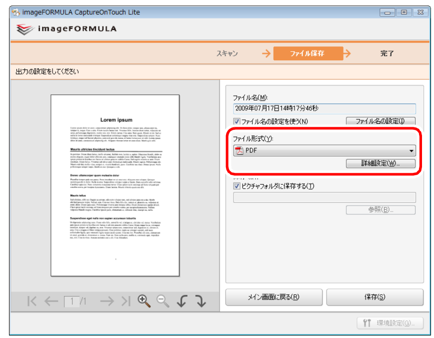


［ファイル名］には、保存されるスキャン画像のファイル名が表示されます。次のどちらかの方法でファイル名を変更できます。

- ［ファイル名の設定を使う］チェックボックスをオフにすると、ファイル名の欄が空欄になり任意のファイル名を入力して指定できます。
- ［ファイル名の設定］をクリックすると、ファイル名のつけ方を指定できます。



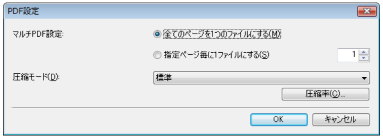
7 保存するスキャン画像のファイル形式を設定します。



ファイル形式をリストボックスで選択できます。

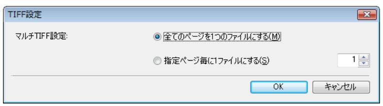
BMP 以外のファイル形式を選択したときは、［詳細設定］をクリックして、より詳細な設定ができます。詳細設定の内容は、ファイル形式ごとに次のようになります。

• PDF



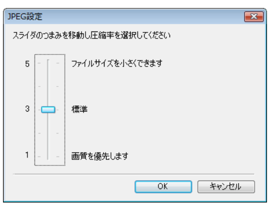
［マルチ PDF 設定］で、スキャン画像をマルチページ（全ページを 1 つのファイルにする）とシングルページ（指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする）のどちらで保存するかを指定します。
また、［圧縮モード］で、PDF ファイルの圧縮モード（「標準」または「高圧縮」）を指定します。［圧縮率］をクリックし、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

• TIFF



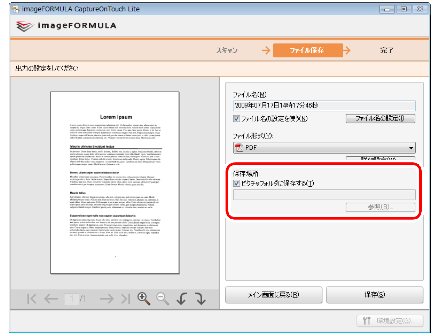
［マルチ TIFF 設定］で、スキャン画像をマルチページ（全ページを 1 つのファイルにする）とシングルページ（指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする）のどちらで保存するかを指定します。

• JPEG



JPEG 画像の圧縮率を指定できます。

8 スキャン画像を保存する場所を設定します。



［ピクチャフォルダに保存する］チェックボックスをオンにしたときは、コンピュータの［ピクチャ］フォルダにスキャン画像が保存されます。
任意の場所を指定するときは、［ピクチャフォルダに保存する］チェックボックスをオフにしてから、［参照］ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスでスキャン画像の保存場所を指定できます。

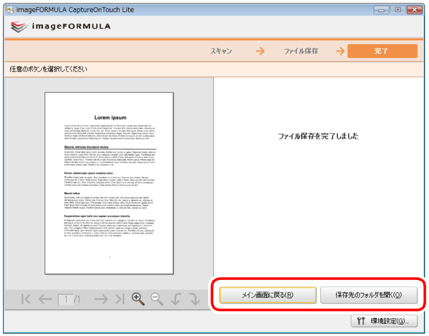
9 ［保存］をクリックします。



スキャン画像が保存されます。

スキャンが終わったときは

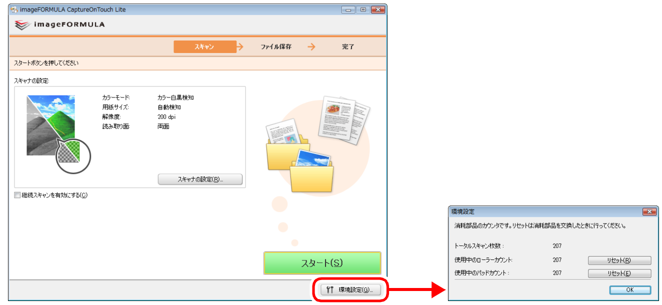
スキャン画像を保存した後は、次のことができます。



- 他の原稿をスキャンするときは、［メイン画面に戻る］をクリックします。
- ［保存先のフォルダを開く］をクリックすると、保存したスキャン画像が保存されたフォルダが開きます。

環境設定

メイン画面の［環境設定］をクリックすると、［メンテナンス］ダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスでは、スキャナーの使用状況を確認できます。

［トータルスキャン枚数］

スキャナーでスキャンしたページの総数が表示されます。

［使用中のローラーカウント］

現在までのスキャン枚数が表示されます。ローラーの交換時（→ P.77）には、［リセット］をクリックして回転数をリセットします。

［使用中のパッドカウント］

現在までのスキャン枚数が表示されます。分離パッドの交換時（→ P.79）には、［リセット］をクリックして使用回数をリセットします。

CaptureOnTouch Lite を終了する

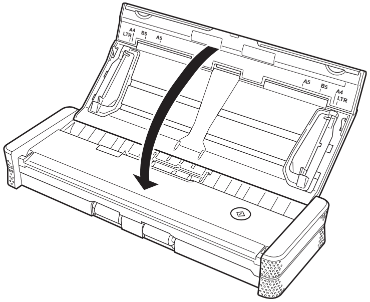
CaptureOnTouch Lite を終了するときは、次の手順で操作します。

1 ［×］（閉じるボタン）をクリックします。



CaptureOnTouch Lite が閉じます。

2 給紙トレイを閉じます。

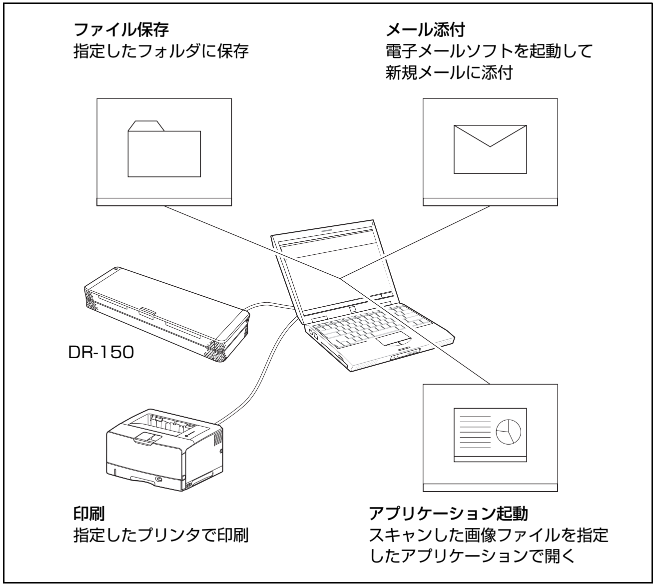


スキャナーの電源がオフになり、電源ランプが消灯します。

3 USB ケーブルをスキャナーとコンピュータから抜きます。

CaptureOnTouch でスキャンする

CaptureOnTouch は、画面の指示に従って簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。



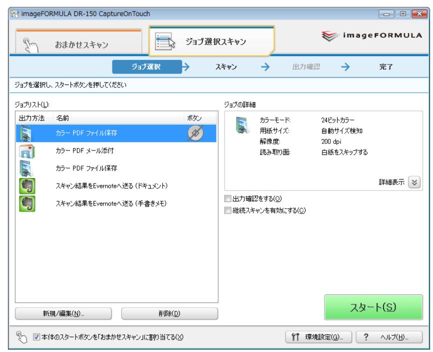
CaptureOnTouch には、目的や用途に応じて使い分けることが可能な複数のスキャン方法が用意されています。

おまかせスキャン



原稿をスキャンしてから、出力方法を選択して必要な設定をするスキャン方法です。画面の指示に従って手軽に原稿をスキャンできます。

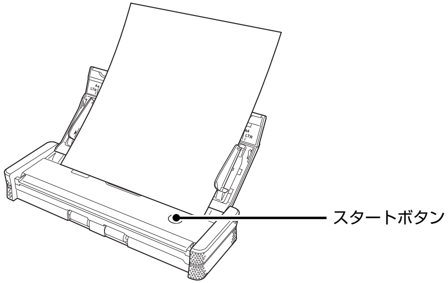
ジョブ選択スキャン



スキャン条件から出力方法までを 1 つのジョブに登録し、目的に合ったジョブを選択することで原稿をスキャンする方法です。決まった手順でスキャンを繰り返す場合に便利です。

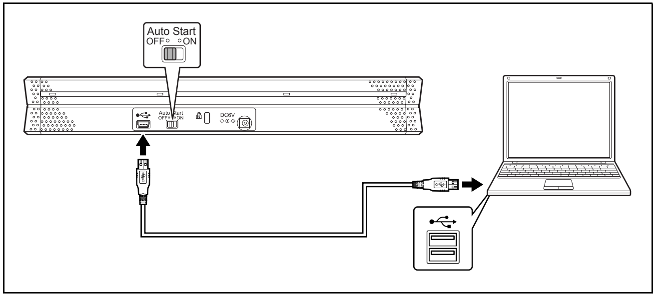
スタートボタンでスキャン

スキャナーのスタートボタンにはあらかじめ「おまかせスキャン」が割り当てられており、原稿をセットしてスタートボタンを押すとスキャンが開始します。



スキャナーをコンピュータに接続する

CaptureOnTouch でスキャンするときは、スキャナーの背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にしてから、USB ケーブルでスキャナーをコンピュータに接続します。



必要に応じて、給電用 USB ケーブルを接続してもかまいません。

CaptureOnTouch を起動する

CaptureOnTouch を起動するときは、次のように操作します。

コンピュータを起動すると、CaptureOnTouch がシステムに常駐し、タスクバーに CaptureOnTouch のアイコンが表示されます（デフォルト）。アイコンの表示は、スキャナーの電源の状態に応じて次のように異なります。



アイコン	意味
	電源オフ（給紙トレイが閉じている）
	電源オン（給紙トレイが開いている）

CaptureOnTouch を起動するときは、次のように操作します。

1 **給紙トレイを開きます。**

詳細は 25 ページを参照してください。

2 **タスクバーの （CaptureOnTouch アイコン）をクリックし、表示されるメニューの［CaptureOnTouch を起動する］をクリックする**



CaptureOnTouch が起動し、メイン画面が表示されます。

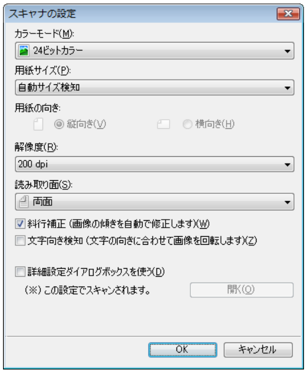
ヒント

- スタートメニューから起動することもできます。［スタート］－［すべてのプログラム］－［Canon DR-150］－［CaptureOnTouch］の順にクリックしてください）。
- Windows へのログオン時に CaptureOnTouch のアイコンをタスクバーに表示しないように設定を変更できます。詳しくは「環境設定」（45 ページ）を参照してください。

スキャン条件の設定

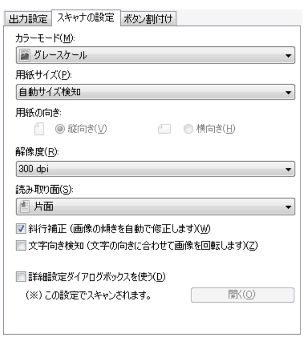
スキャン方法や原稿のサイズなど、さまざまなスキャン条件を設定します。スキャン条件の項目は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合



「おまかせスキャン」ではスキャン開始前にスキャナー設定をします。

「ジョブ選択スキャン」の場合



「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとにスキャナー設定をします。

ヒント

スキャン条件の設定には、［スキャナの設定］ダイアログボックス（または［スキャナの設定］タブ）で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

基本的なスキャン条件の設定内容

［スキャナの設定］ダイアログボックスには、基本的なスキャン条件を設定するための次の項目があります。

カラーモード

原稿をスキャンするモードを、次の中から選択します。

カラー白黒検知	原稿がカラーか白黒かを検知してスキャンします。
24 ビットカラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

［自動サイズ検知］を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

用紙の向き

原稿をスキャナーに挿入する向きと同じ向き（縦向きまたは横向き）を指定します。

この項目は、横向きでスキャナーにセットできる用紙サイズを［用紙サイズ］で指定している場合にのみ設定できます。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

［白紙をスキップする］を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。白紙スキップの閾値は、ドライバの設定が適用されます。

斜行補正

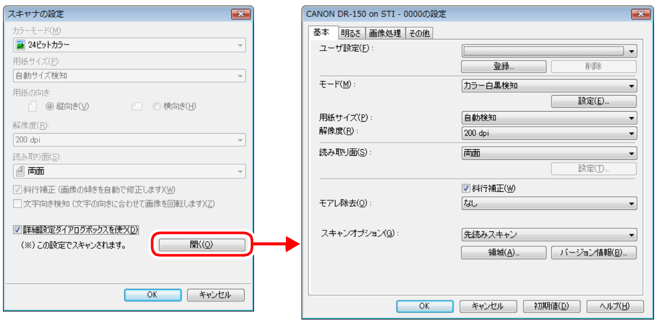
傾いた原稿をスキャンしたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

文字向き検知

読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

上記の基本項目以外の詳細なスキャン条件の設定を、詳細設定ダイアログボックスを開いて行います。詳細設定ダイアログボックスを開くには、[詳細設定ダイアログボックスを使う］チェックボックスをオンにしてから、[開く］ボタンをクリックします。



設定項目の詳細は、スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

ヒント

スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスには、[スキャナの設定］ダイアログボックスの基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う］チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う］の設定	基本項目	基本項目以外
オフ	[スキャナの設定］ダイアログボックスの設定	スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスの設定
オン	スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスの設定	

重要

コンピュータのメモリを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

出力方法の設定

CaptureOnTouch には、スキャン画像を処理するための 4 つの出力方法が用意されています。
出力方法の指定は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合

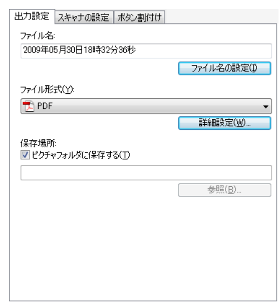
「おまかせスキャン」では、スキャン後に表示される［出力方法］画面で出力方法を選択してから、それぞれの出力方法を指定します。

「ジョブ選択スキャン」の場合

「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとに出力方法を指定します。

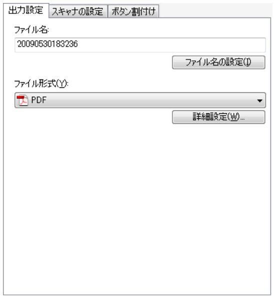
出力方法によって、出力に関する設定項目が異なります。

ファイル保存



スキャンした画像を、指定したフォルダに保存します。この出力方法を指定したときは、保存する画像ファイルの設定をします。

メールに添付



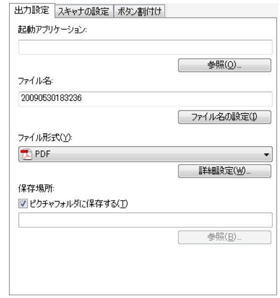
スキャンした画像を、電子メールソフトウェアの新規作成メールに添付します。この出力方法を指定したときは、メールに添付する画像ファイルの設定をします。
この機能を使用するには、Windowsメール、Outlook Express など、MAPI（Microsoft Messaging Application Programming Interface）に対応した電子メールアプリケーションを、オペレーティングシステムの既定のプログラムとして指定しておく必要があります。

印刷



スキャンした画像を、指定したプリンタで印刷します。この出力方法を指定したときは、印刷するプリンタを指定します。

アプリケーション起動



スキャンした画像ファイルを指定したフォルダに保存し、指定したアプリケーションで開きます。この出力方法を指定したときは、［参照］ボタンをクリックして、画像ファイルを開くことができるアプリケーションの実行ファイル（*.exe）を指定します。また、保存する画像ファイルの設定もします。

PaperPort をお使いの方へ

- 本製品に付属の PaperPort は、［Documents］フォルダをデフォルトフォルダとしています。そのため、PaperPort に画像ファイルを送る場合の保存先フォルダは［Documents］（または［Documents］の中のフォルダ）を指定してください。その他のフォルダを指定した場合、エラーになる場合があります。
- ［Documents］以外のフォルダを指定する場合は、あらかじめ PaperPort の「フォルダマネージャ」を使って指定するフォルダを登録することにより［Documents］以外のフォルダを指定できるようになります。
- Windows Vista の場合、ドキュメントフォルダとピクチャフォルダが同じフォルダ階層にあります。そのため保存先にピクチャフォルダを指定するときは、PaperPort の「フォルダマネージャ」を使ってピクチャフォルダを登録してください。

おまかせスキャン

操作の流れ

原稿をスキャン

▼

出力方法を選択

▼

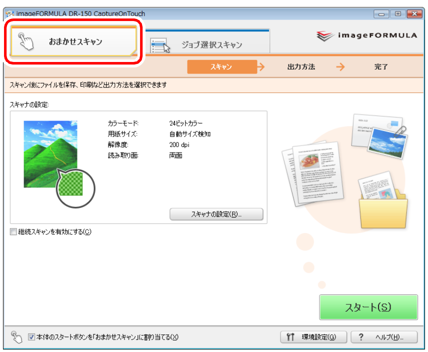
出力設定

▼

スキャン画像出力

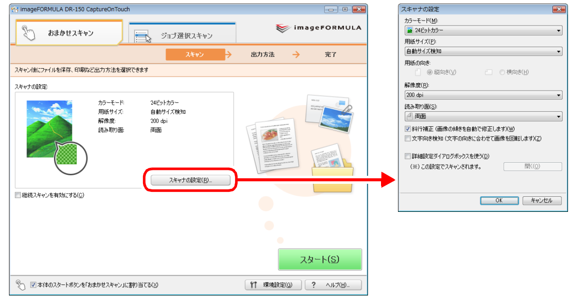
1 原稿をスキャナーにセットします。（25 ページ）

2 ［おまかせスキャン］タブをクリックします。



「おまかせスキャン」のメイン画面が表示されます。

3 ［スキャナの設定］をクリックして［スキャナの設定］ダイアログボックスを表示させ、スキャナー設定をします。



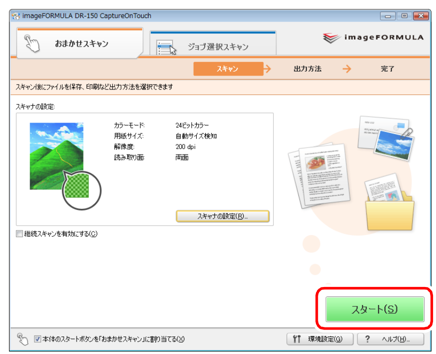
スキャナー設定の項目についてはヘルプを参照してください。

設定が終わったら、［OK］ボタンをクリックして［スキャナの設定］ダイアログボックスを閉じます。

ヒント

すべての原稿が一度にフィーダーにセットできない場合などは、［継続スキャンを有効にする］チェックボックスをオンにすることで、原稿をいくつかに分割してスキャンできます（この場合でも 1 つのファイルにスキャン画像が保存されます）。

4 ［スタート］ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

スキャンが終わると、メインウィンドウが「出力方法」画面に切り替わります。

ヒント

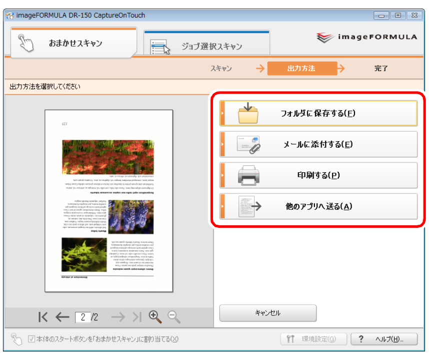
［継続スキャンを有効にする］チェックボックスをオンにしてスキャンしたときは、すべての原稿のスキャンが終わったときに、継続確認画面が表示されます。



次の原稿をセットしてから［続けてスキャンする］をクリックすると、原稿のスキャンが開始します。

原稿をすべてスキャンし終わったときは、［次のステップに進む］をクリックしてください。

5 出力方法を指定します。



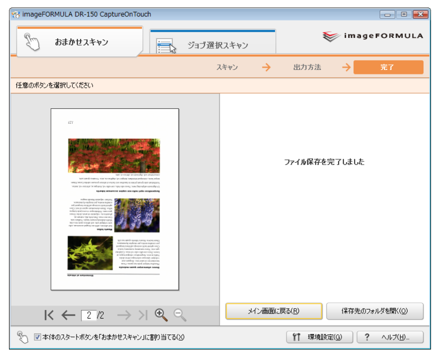
6 出力に関する設定をしてから、出力ボタンをクリックしてスキャン画像を出力します。



出力ボタン

選択した出力方法ごとに出力ボタンの名前が異なります。たとえば、出力方法に［フォルダに保存する］を指定したときの出力ボタンは［保存］ボタンになります。

出力が終わると、完了画面が表示されます。これでおまかせスキャンは完了です。

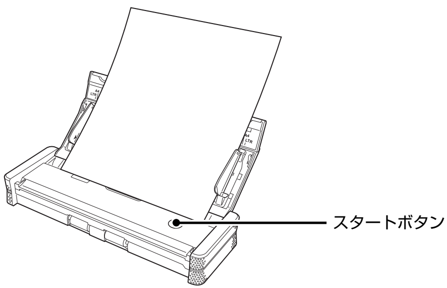


![ヒント] ヒント

- ［メイン画面に戻る］をクリックすると、おまかせスキャンのメイン画面に戻ります。
- 出力方法に［フォルダに保存する］を指定したときは、［保存先のフォルダを開く］をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダを開くことができます。

スタートボタンでおまかせスキャンを開始する

デフォルトでは、スキャナーのスタートボタンにおまかせスキャンが割り当てられています。



原稿をスキャナーにセットしてからスタートボタンを押すと、CaptureOnTouchが起動し、おまかせスキャンが開始します。原稿のスキャンが終わると、出力方法選択画面が表示されます。あとは 40 ページの手順 5 以降と同じ操作で、スキャン画像を出力できます。

ジョブ選択スキャン

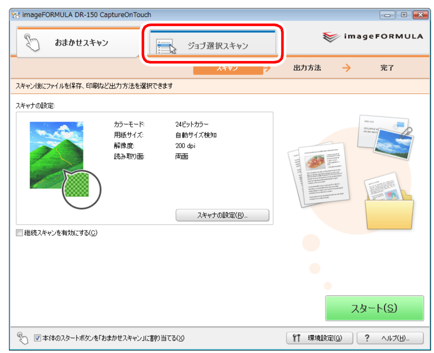
操作の流れ

ジョブを登録
▼
ジョブを選択
▼
原稿をスキャン
▼
スキャン画像出力

ジョブの登録と編集

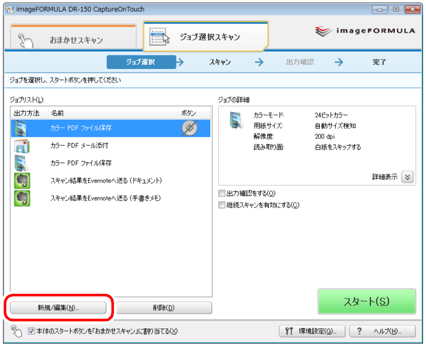
CaptureOnTouch には、ジョブ選択スキャンで使用するジョブを 10 個まで登録できます。

1 ［ジョブ選択スキャン］タブをクリックします。



「ジョブ選択スキャン」のメイン画面が表示されます。

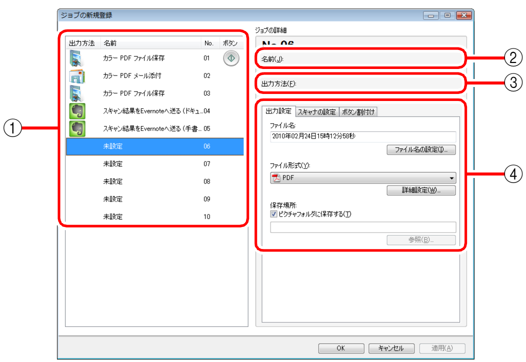
2 ［新規 / 編集］ボタンをクリックします。



［ジョブの編集］ダイアログボックスが表示されます。

3 ジョブを設定します。

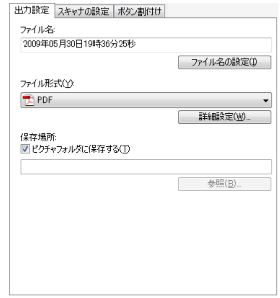
① ジョブの一覧で、未設定のジョブ番号を選択します。登録されているジョブを選択すると、タイトルバーの表示が［ジョブの編集］になり、登録済みのジョブの内容を変更できます。
② ジョブの名前を入力します。
③ ジョブの出力方法を指定します。
④ ジョブを設定します。



ジョブの設定は、次の 3 つのタブで行います。

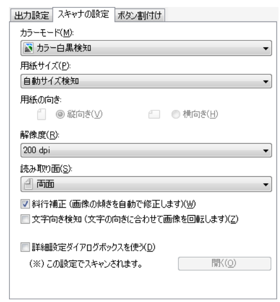
［出力設定］タブ

出力方法に関する設定をします。表示される設定項目は［出力方法］の指定に応じて切り替わります。



［スキャナの設定］タブ

スキャナー設定をします。

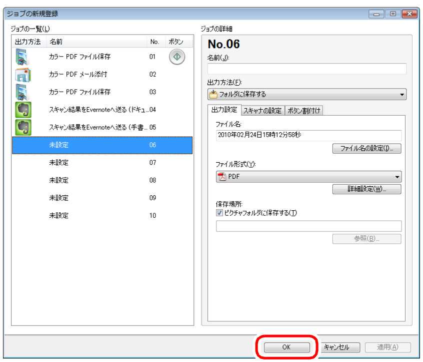


［ボタン割付け］タブ

スキャナーのジョブボタンをジョブに割り当てる設定をします。メイン画面で［スタートボタンを「おまかせスキャン」に割り当てる］をオンにしている場合、スタートボタンへの割り当ては無効になります。



4 ［OK］ボタンをクリックします。

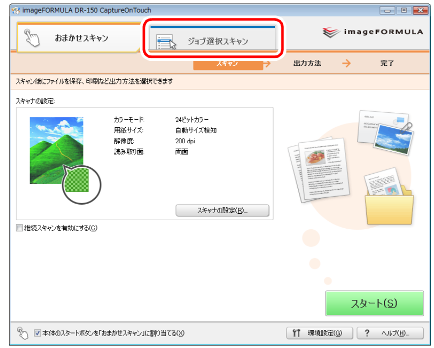


設定した内容でジョブが登録され、ジョブリストに表示されます。登録済みのジョブの設定内容を確認したり変更するときは、［ジョブ一覧 / 編集］ボタンをクリックします。

ジョブを選択してスキャンする

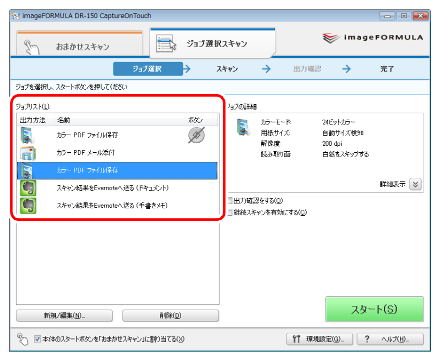
1 原稿をスキャナーにセットします。(25 ページ)

2 ［ジョブ選択スキャン］タブをクリックします。

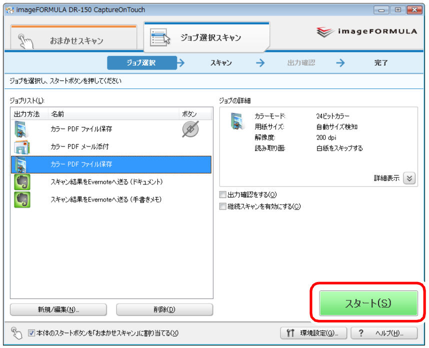


「ジョブ選択スキャン」のメイン画面が表示されます。

3 ［ジョブリスト］で、ジョブを選択します。

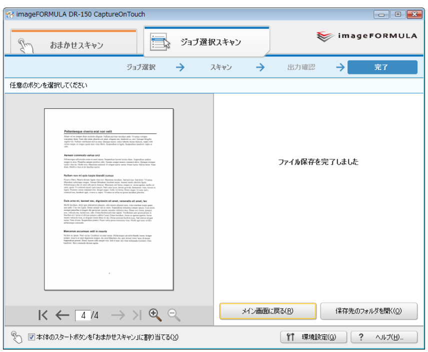


4 ［スタート］ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

原稿のすべてのページがスキャンされると、登録されているジョブの設定内容に従って出力され、完了画面が表示されます。

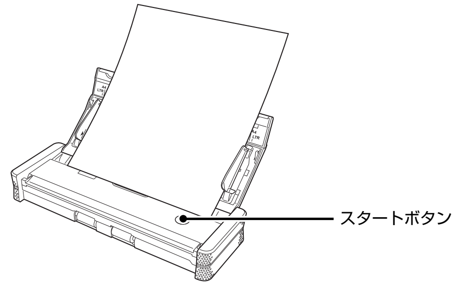


ヒント

- ［メイン画面に戻る］をクリックすると、ジョブ選択スキャンのメイン画面に戻ります。
- 出力方法が「ファイル保存」のジョブを実行したときは、［保存先のフォルダを開く］をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダを開くことができます。

スタートボタンでジョブ選択スキャンを開始する

スキャナーのスタートボタンにジョブを割り当てた場合は、スタートボタンを押すことで、ジョブによるスキャンを開始できます。



原稿をスキャナーにセットしてからスタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、割り当てられたジョブの設定内容に従ってスキャンが開始します。

ヒント

スタートボタンからジョブ選択スキャンを実行した場合は、出力処理の終了後 5 秒経過すると自動的に CaptureOnTouch が終了します。

重要

出力方法に Evernote を選択する場合は、あらかじめ Evernote をインストールしておく必要があります。インストール方法の詳細は「バンドルソフトウェアのインストールについて」（17 ページ）を参照してください。

環境設定

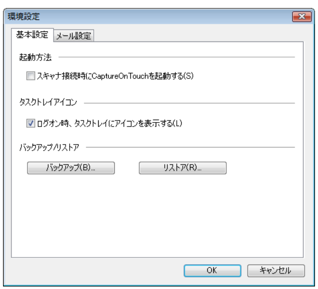
CaptureOnTouch の環境設定を行うには、メイン画面の［環境設定］ボタンをクリックして［環境設定］ダイアログボックスを開きます。



［環境設定］ダイアログボックスは［基本設定］タブと［メール設定］タブで構成されます。
それぞれのタブの設定について、以降で説明します。

［基本設定］タブ

［基本設定］タブでは以下の設定を行います。



起動方法の設定

［スキャナ接続時に CaptureOnTouch を起動する］チェックボックスをオンにすると、Windows がスキャナーを認識したときに CaptureOnTouch が起動します。

タスクバーのアイコンの表示

［ログオン時、タスクトレイにアイコンを表示する］をオフにすると、タスクバーに （CaptureOnTouch アイコン）は表示されません。

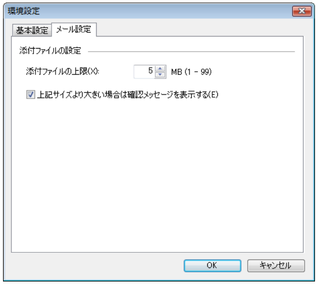
バックアップ / リストア

［バックアップ］ボタンと［リストア］ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容や登録ジョブなど）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

- **［バックアップ］ボタン**
  CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル（*.reg）にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。
- **［リストア］ボタン**
  バックアップしたレジストリファイルから設定を復元します。
  複数台のスキャナーを使用している場合に、1 台のスキャナーで行った環境設定をバックアップし、他のスキャナーにリストアすることで同じ設定にできます。

［メール設定］タブ

［メール設定］タブでは、メールに添付する画像ファイルの上限を設定します。



添付ファイルの上限

［上記サイズよりも大きい場合は確認メッセージを表示する］チェックボックスをオンにすると、添付ファイルが上限サイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

- 「おまかせスキャン」の場合は、スキャンした画像のファイルサイズがここで設定したファイルサイズよりもが大きかった場合に確認メッセージが表示されます。
- 「ジョブ選択スキャン」の場合は、スキャン中に設定したファイルサイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

スキャナードライバの設定

ISIS 互換または TWAIN 互換アプリケーション（CaptureOnTouch など）で原稿をスキャンするときは、スキャナードライバを開いてスキャン条件などを設定します。
ここでは、スキャナードライバの構成と機能について説明します。

スキャナードライバの構成と機能

スキャナードライバは次の 4 つのタブで構成されています。

ヒント

設定画面についての詳細は、スキャナードライバのヘルプを参照してください。ドライバの［ヘルプ］ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

［基本］タブ

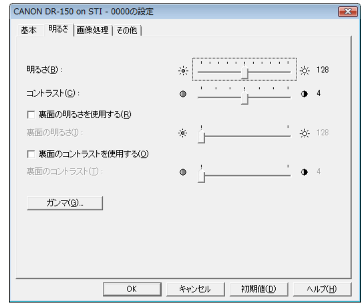


モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。
［領域］ボタンをクリックして、スキャンする領域を指定することもできます。

ヒント

- ISIS 互換アプリケーションから呼び出したときは、［スキャンオプション］は表示されません。
- ISIS 互換アプリケーションによっては、スキャン条件をアプリケーション独自の画面で設定することがあります。このようなアプリケーションでスキャナードライバを開いた場合、［基本］タブにはスキャン条件以外の ISIS/TWAIN ドライバが提供する機能に関する設定項目が表示されます。

［明るさ］タブ



スキャン画像の明るさとコントラストを調整します。
［ガンマ］をクリックして、スキャン画像のガンマ補正値を設定することもできます。

［画像処理］タブ

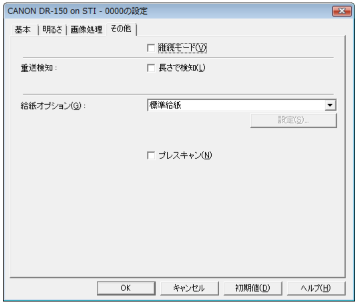


スキャン画像の処理方法を設定します。

ヒント

ISIS 互換アプリケーションから呼び出したときは、［白黒反転］は表示されません。

［その他］タブ



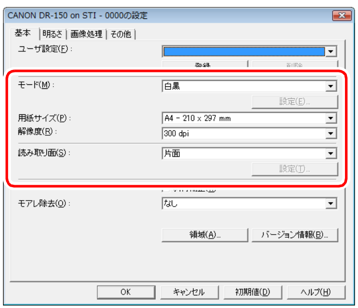
スキャン時のスキャナーの動作を設定します。

基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

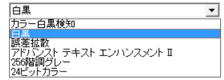
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「モード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



モード

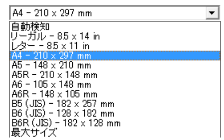
スキャンするモードを選択します。



- ［アドバンストテキストエンハンスメント II］は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- ［カラー白黒検知］は、カラー原稿の場合はカラー画像、モノクロ原稿のときは白黒画像で保存します。

用紙サイズ

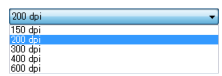
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



［自動検知］を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

解像度

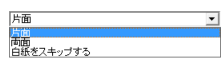
スキャンする解像度を選択します。



解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。

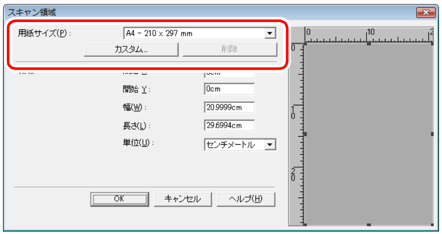


読み取り面を［白紙スキップ］にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

用紙サイズの登録されていない非定形サイズの原稿は、［基本］タブの［領域］ボタンから開く［スキャン領域］ダイアログボックスの「用紙サイズ」の設定で、用紙サイズに登録されていない非定形サイズの用紙をカスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。

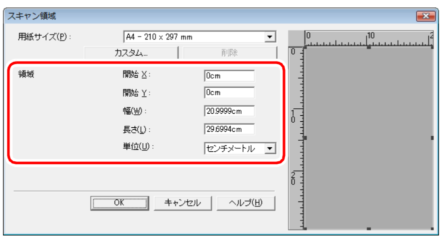


スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、［基本］タブの［領域］ボタンから開くスキャン領域ダイアログボックスで領域を指定します。



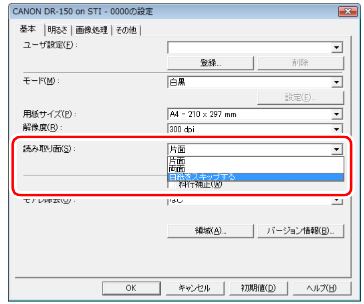
領域を設定する原稿を「スキャン 1 ページ」でスキャンすると、原稿が 1 枚だけスキャンされ、そのスキャン画像がプレビューウィンドウに表示されます。

目的に合わせたスキャナー設定

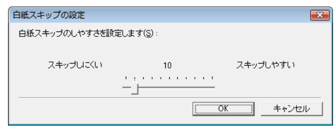
スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

両面原稿の間にある白紙ページの画像を削除したい

［基本］タブにある読み取り面の設定を［白紙をスキップする］にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。

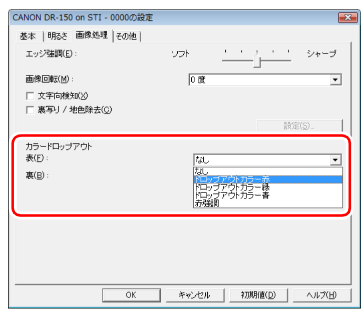


白紙スキップを選択すると［設定］ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルが調整できます。



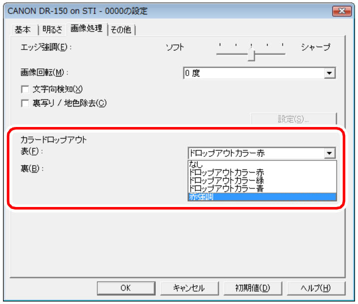
色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

［画像処理］タブにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色（赤、青、緑）を指定すると、指定した色がスキャンされません。



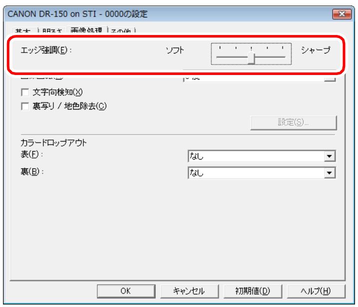
特定の色を強調させたい

［画像処理］タブにあるカラードロップアウトの設定で強調させる色（赤）を指定すると、指定した色が強調されます。



画像の輪郭をはっきりさせたい

［画像処理］タブでエッジ強調の設定を調整します。

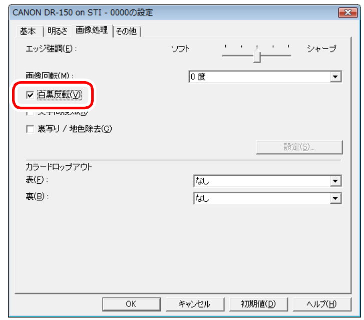


スキャンした画像を白黒反転させたい（TWAIN ドライバのみ）

［画像処理］タブの［白黒反転］をチェックします。スキャンした画像を白黒反転して出力します。

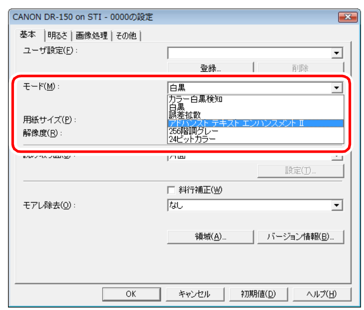
ヒント

ISIS 互換アプリケーションからスキャナードライバの設定画面を開いた場合、［白黒反転］は表示されません。



背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

［基本］タブにあるモードの設定で［アドバンストテキストエンハンスメントII］を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。

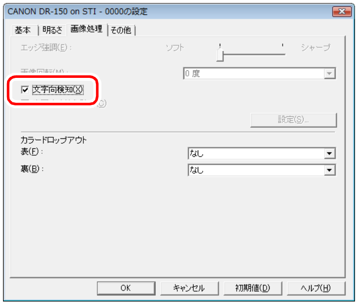


文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

［画像処理］タブにある［文字向検知］をチェックします。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。

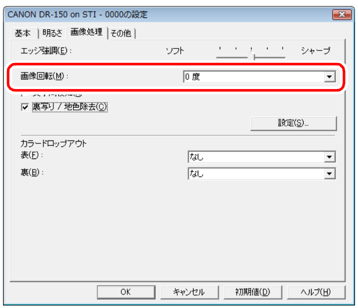
ヒント

［文字向検知］をチェックしているときは、［画像回転］は使用できません。



横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

［画像処理］タブにある［画像回転］で回転させる角度を指定します。



モードの設定による機能制限

［基本］タブの［モード］の設定に応じて、次のようにドライバの各タブの設定項目の一部が無効になります。

［明るさ］タブ

設定値	裏面の明るさを使用する	裏面のコントラストを使用する
カラー白黒検知	○	○
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンストテキストエンハンスメント II	×	×
256 階調グレー	○	○
24 ビットカラー	○	○

（○：設定可 ×：設定不可）

［画像処理］タブ

設定値	エッジ強調	白黒反転 （TWAIN ドライバのみ）	裏写り／地色除去	カラードロップアウト
カラー白黒検知	○	○	○	×
白黒	○	○	○	○
誤差拡散	○	○	○	○
アドバンストテキストエンハンスメント II	×	○	×	○
256 階調グレー	○	×	○	○
24 ビットカラー	○	×	○	×

（○：設定可 ×：設定不可）

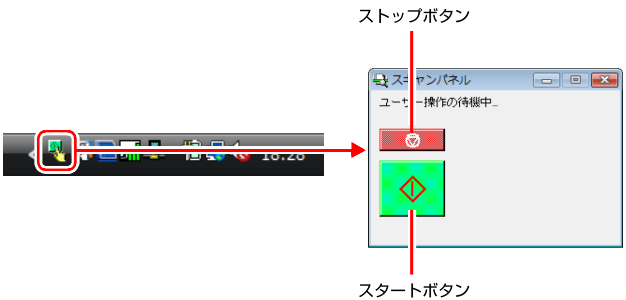
［その他］タブ

設定値	プレスキャン
カラー白黒検知	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンストテキストエンハンスメント II	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

（○：設定可 ×：設定不可）

スキャンパネル

スキャンパネルは、複数の原稿を続けてスキャンするときに、原稿の給紙やスキャンの停止などの制御をするためのソフトウェアです。
通常はタスクバーに常駐します。タスクバーの アイコンをダブルクリックすると、スキャンパネルが表示されます。



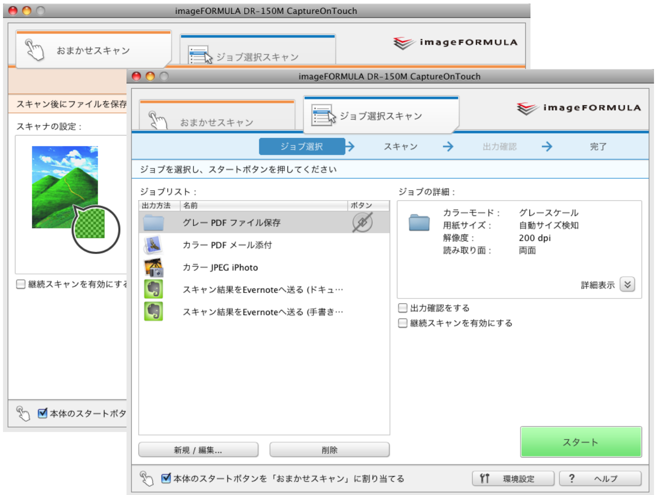
スキャンパネルは、スキャナードライバの設定ダイアログボックスで、［給紙オプション］の設定を［パネルで給紙］にしたときに操作します。この場合、1 つめの原稿のスキャンが終わった後で、スキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。次の原稿をセットしてから、スキャンパネルのスタートボタンをクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。
スキャンパネルのストップボタンをクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

スキャンのしかた（Mac OS X）

付属ソフトウェアについて

CaptureOnTouch

本機専用のスキャニングアプリケーションです。スキャン画像を印刷やメール添付などさまざまな方法で出力したり、スキャン条件や出力の設定を「ジョブ」として登録できます。



スキャナードライバ（DR-150M Driver）

本機のスキャナードライバです。TWAIN 互換アプリケーションでスキャンの操作をするときに、必要に応じて呼び出してスキャン条件を設定します。詳しくは「スキャナードライバの設定」（68 ページ）を参照してください。

重要

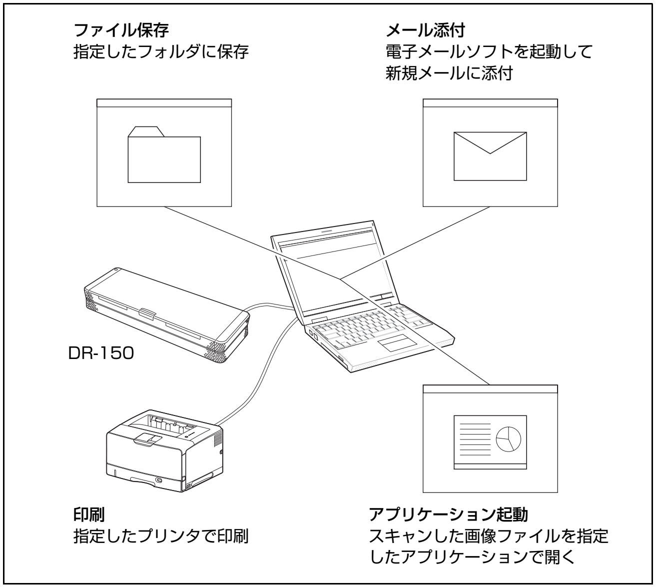
- スキャナードライバは、すべてのTWAIN互換アプリケーションでの動作を保証するものではありません。
- Mac OS X では CaprureOnTouch Lite を使用することはできません。

ヒント

CaptureOnTouch とスキャナードライバは、ソフトウェアセットアップディスクからインストールする必要があります。インストール方法の詳細は「ソフトウェアのインストール」（14 ページ）を参照してください。

CaptureOnTouch でスキャンする

CaptureOnTouch は、画面の指示に従って簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。



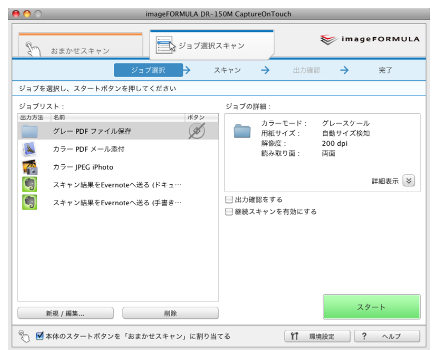
CaptureOnTouch には、目的や用途に応じて使い分けることが可能な複数のスキャン方法が用意されています。

おまかせスキャン



原稿をスキャンしてから、出力方法を選択して必要な設定をするスキャン方法です。画面の指示に従って手軽に原稿をスキャンできます。

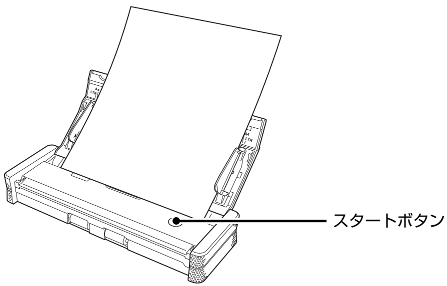
ジョブ選択スキャン



スキャン条件から出力方法までを 1 つのジョブに登録し、目的に合ったジョブを選択することで原稿をスキャンする方法です。決まった手順でスキャンを繰り返す場合に便利です。

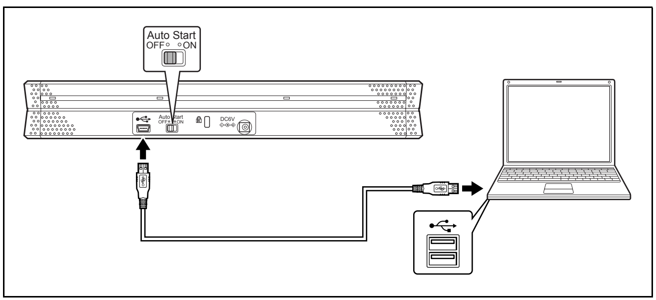
スタートボタンでスキャン

スキャナーのスタートボタンにはあらかじめ「おまかせスキャン」が割り当てられており、原稿をセットしてスタートボタンを押すとスキャンが開始します。



スキャナーをコンピュータに接続する

CaptureOnTouch でスキャンするときは、スキャナーの背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にしてから、USB ケーブルでスキャナーをコンピュータに接続します。



必要に応じて、給電用 USB ケーブルを接続してもかまいません。

重要

Mac OS X では CaptureOnTouch Lite を使用することはできません。常に Auto Start スイッチを「OFF」にしてご使用ください。

CaptureOnTouch を起動する

コンピュータを起動すると、メニューバーに CaptureOnTouch のアイコンが表示されます（デフォルト）。アイコンの表示は、スキャナーの電源の状態に応じて次のように異なります。



アイコン	意味
	電源オフ（給紙トレイが閉じている）
	電源オン（給紙トレイが開いている）

CaptureOnTouch を起動するときは、次のように操作します。

1 **給紙トレイを開きます。**

詳細は 25 ページを参照してください。

2 **タスクバーの （CaptureOnTouch アイコン）をクリックし、表示されるメニューの［CaptureOnTouch を起動する］をクリックする**



CaptureOnTouch が起動し、メイン画面が表示されます。

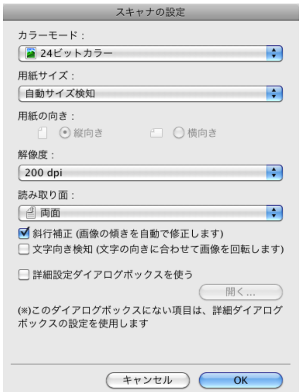
ヒント

コンピュータの起動時にCaptureOnTouchのアイコンをメニューバーに表示しないように設定を変更できます。詳しくは「環境設定」（66 ページ）を参照してください。

スキャン条件の設定

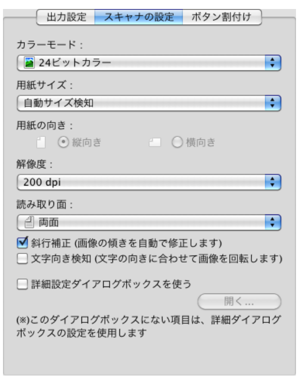
スキャン方法や原稿のサイズなど、さまざまなスキャン条件を設定します。スキャン条件の項目は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合



「おまかせスキャン」ではスキャン開始前にスキャナー設定をします。

「ジョブ選択スキャン」の場合



「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとにスキャナー設定をします。

ヒント

スキャン条件の設定には、［スキャナの設定］ダイアログボックス（または［スキャナの設定］タブ）で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

基本的なスキャン条件の設定内容

［スキャナの設定］ダイアログボックスには、基本的なスキャン条件を設定するための次の項目があります。

カラーモード

原稿をスキャンするモードを、次の中から選択します。

カラー白黒検知	原稿がカラーか白黒かを検知してスキャンします。
24 ビットカラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。
［自動サイズ検知］を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

用紙の向き

原稿をスキャナーに挿入する向きと同じ向き（縦向きまたは横向き）を指定します。
この項目は、横向きでスキャナーにセットできる用紙サイズを［用紙サイズ］で指定している場合にのみ設定できます。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。
［白紙をスキップする］を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。白紙スキップの閾値は、ドライバの設定が適用されます。

斜行補正

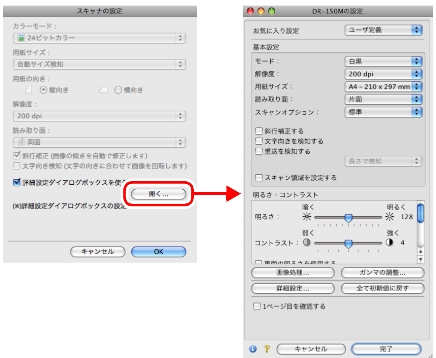
傾いた原稿をスキャンしたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

文字向き検知

読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

上記の基本項目以外の詳細なスキャン条件の設定を、詳細設定ダイアログボックスを開いて行います。詳細設定ダイアログボックスを開くには、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスをオンにしてから、[開く] ボタンをクリックします。



設定項目の詳細は、スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

ヒント

スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスには、[スキャナの設定] ダイアログボックスの基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う] の設定	基本項目	基本項目以外
オフ	[スキャナの設定] ダイアログボックスの設定	スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスの設定
オン	スキャナードライバの詳細設定ダイアログボックスの設定	

出力方法の設定

CaptureOnTouch には、スキャン画像を処理するための 4 つの出力方法が用意されています。
出力方法の指定は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合

「おまかせスキャン」では、スキャン後に表示される [出力方法] 画面で出力方法を選択してから、それぞれの出力方法を指定します。

「ジョブ選択スキャン」の場合

「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとに出力方法を指定します。

出力方法によって、出力に関する設定項目が異なります。

ファイル保存



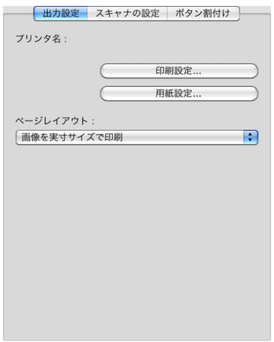
スキャンした画像を、指定したフォルダに保存します。この出力方法を指定したときは、保存する画像ファイルの設定をします。

メールに添付



スキャンした画像を、電子メールソフトウェアの新規作成メールに添付します。この出力方法を指定したときは、メールに添付する画像ファイルの設定をします。
この機能を使用するには、Mail（OS 標準のアプリケーション）やMicrosoft Entourage 2004 for Macなどの電子メールアプリケーションを、オペレーティングシステムの既定のプログラムとして指定しておく必要があります。

印刷



スキャンした画像を、指定したプリンタで印刷します。この出力方法を指定したときは、印刷するプリンタを指定します。

アプリケーション起動



スキャンした画像ファイルを指定したフォルダに保存し、指定したアプリケーションで開きます。この出力方法を指定したときは、［参照］ボタンをクリックして、画像ファイルを開くことができるアプリケーションの実行ファイルを指定します。また、保存する画像ファイルの設定もします。

おまかせスキャン

操作の流れ

原稿をスキャン

▼

出力方法を選択

▼

出力設定

▼

スキャン画像出力

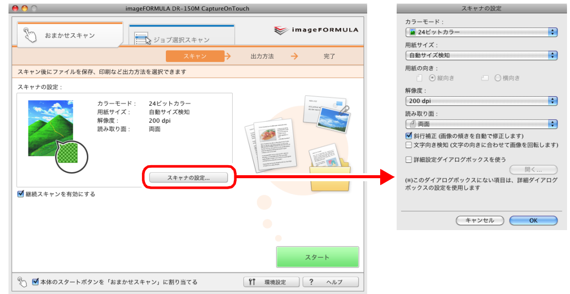
1 原稿をスキャナーにセットします。（25 ページ）

2 ［おまかせスキャン］タブをクリックします。



「おまかせスキャン」のメイン画面が表示されます。

3 ［スキャナの設定］をクリックして［スキャナの設定］ダイアログボックスを表示させ、スキャナー設定をします。



スキャナー設定の項目についてはヘルプを参照してください。

設定が終わったら、［OK］ボタンをクリックして［スキャナの設定］ダイアログボックスを閉じます。

ヒント

すべての原稿が一度にフィーダーにセットできない場合などは、［継続スキャンを有効にする］チェックボックスをオンにすることで、原稿をいくつかに分割してスキャンできます（この場合でも 1 つのファイルにスキャン画像が保存されます）。

4 ［スタート］ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

スキャンが終わると、メインウィンドウが「出力方法」画面に切り替わります。

ヒント

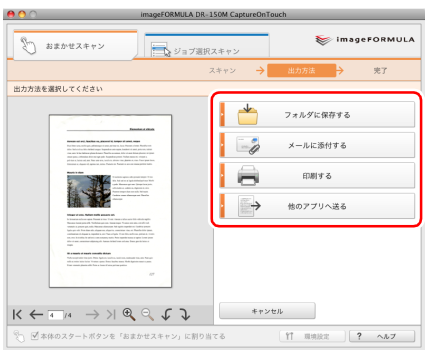
［継続スキャンを有効にする］チェックボックスをオンにしてスキャンしたときは、すべての原稿のスキャンが終わったときに、継続確認画面が表示されます。



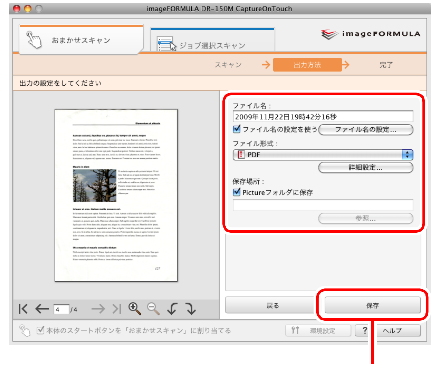
次の原稿をセットしてから［続けてスキャンする］をクリックすると、原稿のスキャンが開始します。

原稿をすべてスキャンし終わったときは、［次のステップに進む］をクリックしてください。

5 出力方法を指定します。



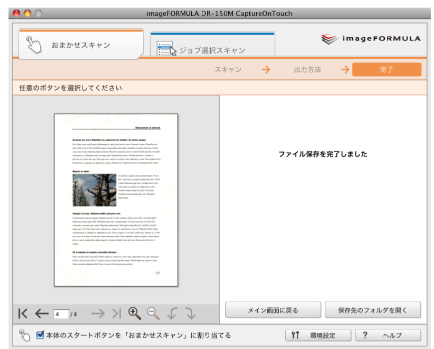
6 出力に関する設定をしてから、出力ボタンをクリックしてスキャン画像を出力します。



出力ボタン

選択した出力方法ごとに出力ボタンの名前が異なります。たとえば、出力方法に［フォルダに保存する］を指定したときの出力ボタンは［保存］ボタンになります。

出力が終わると、完了画面が表示されます。これでおまかせスキャンは完了です。

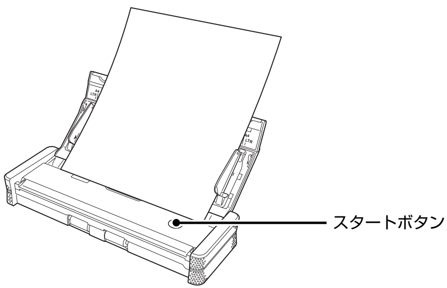


ヒント

- ［メイン画面に戻る］をクリックすると、おまかせスキャンのメイン画面に戻ります。
- 出力方法に［フォルダに保存する］を指定したときは、［保存先のフォルダを開く］をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダを開くことができます。

スタートボタンでおまかせスキャンを開始する

デフォルトでは、スキャナーのスタートボタンにおまかせスキャンが割り当てられています。



原稿をスキャナーにセットしてからスタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、おまかせスキャンが開始します。原稿のスキャンが終わると、出力方法選択画面が表示されます。あとは 61 ページの手順 5 以降と同じ操作で、スキャン画像を出力できます。

ジョブ選択スキャン

操作の流れ

ジョブを登録
▼
ジョブを選択
▼
原稿をスキャン
▼
スキャン画像出力

ジョブの登録と編集

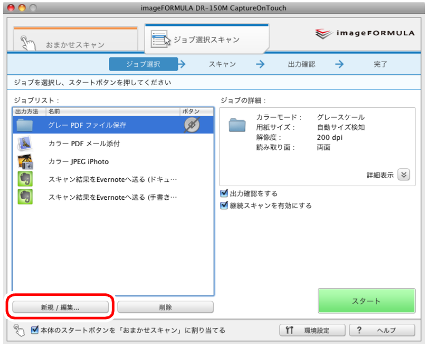
CaptureOnTouch には、ジョブ選択スキャンで使用するジョブを 10 個まで登録できます。

1 ［ジョブ選択スキャン］タブをクリックします。



「ジョブ選択スキャン」のメイン画面が表示されます。

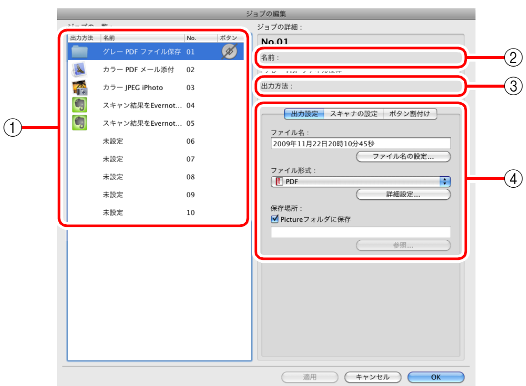
2 ［新規 / 編集］ボタンをクリックします。



［ジョブの編集］ダイアログボックスが表示されます。

3 ジョブを設定します。

① ジョブの一覧で、未設定のジョブ番号を選択します。登録されているジョブを選択すると、タイトルバーの表示が［ジョブの編集］になり、登録済みのジョブの内容を変更できます。
② ジョブの名前を入力します。
③ ジョブの出力方法を指定します。
④ ジョブを設定します。



ジョブの設定は、次の 3 つのタブで行います。

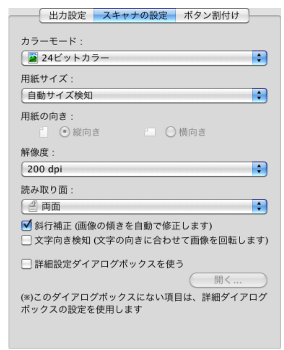
［出力設定］タブ

出力方法に関する設定をします。表示される設定項目は［出力方法］の指定に応じて切り替わります。



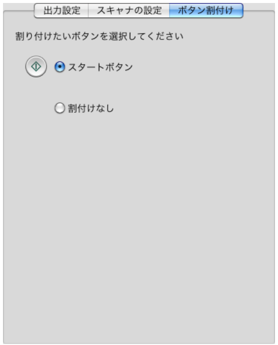
［スキャナの設定］タブ

スキャナー設定をします。

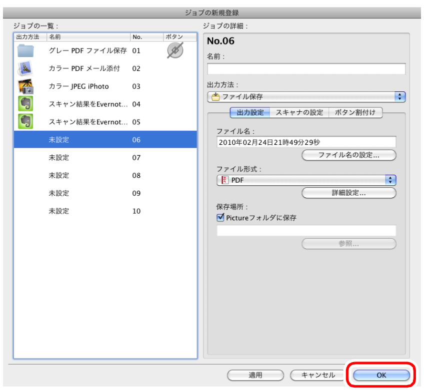


［ボタン割付け］タブ

スキャナーのジョブボタンをジョブに割り当てる設定をします。メイン画面で［スタートボタンを「おまかせスキャン」に割り当てる］をオンにしている場合、スタートボタンへの割り当ては無効になります。



4 ［OK］ボタンをクリックします。



設定した内容でジョブが登録され、ジョブリストに表示されます。登録済みのジョブの設定内容を確認したり変更するときは、［ジョブ一覧 / 編集］ボタンをクリックします。

ジョブを選択してスキャンする

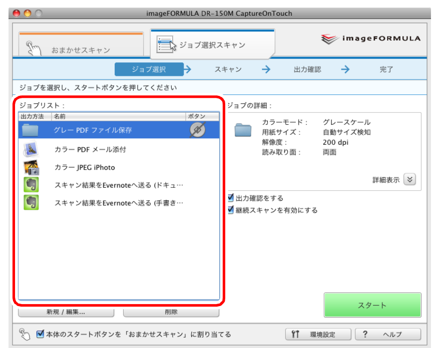
1 原稿をスキャナーにセットします。(25 ページ)

2 ［ジョブ選択スキャン］タブをクリックします。

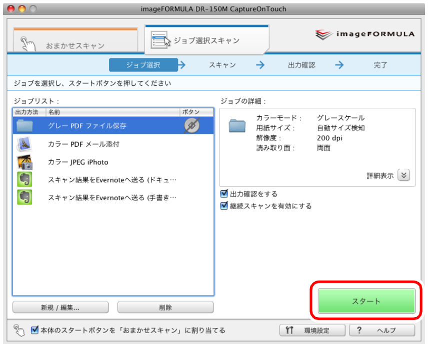


「ジョブ選択スキャン」のメイン画面が表示されます。

3 ［ジョブリスト］で、ジョブを選択します。

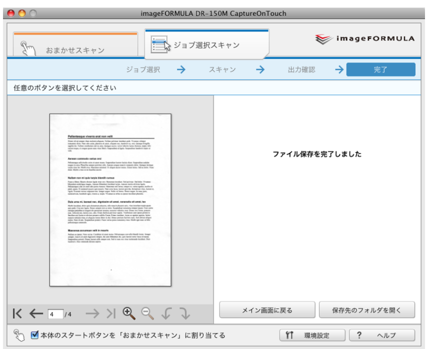


4 ［スタート］ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

原稿のすべてのページがスキャンされると、登録されているジョブの設定内容に従って出力され、完了画面が表示されます。

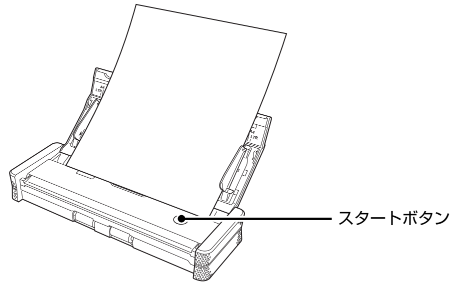


ヒント

- ［メイン画面に戻る］をクリックすると、ジョブ選択スキャンのメイン画面に戻ります。
- 出力方法が「ファイル保存」のジョブを実行したときは、［保存先のフォルダを開く］をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダを開くことができます。

スタートボタンでジョブ選択スキャンを開始する

スキャナーのスタートボタンにジョブを割り当てた場合は、スタートボタンを押すことで、ジョブによるスキャンを開始できます。



原稿をスキャナーにセットしてからスタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、割り当てられたジョブの設定内容に従ってスキャンが開始します。

ヒント

スタートボタンからジョブ選択スキャンを実行した場合は、出力処理の終了後 5 秒経過すると自動的に CaptureOnTouch が終了します。

重要

出力方法に Evernote を選択する場合は、あらかじめ Evernote をインストールしておく必要があります。インストール方法の詳細は「バンドルソフトウェアのインストールについて」（19 ページ）を参照してください。

環境設定

CaptureOnTouch の環境設定を行うには、メイン画面の［環境設定］ボタンをクリックして［環境設定］ダイアログボックスを開きます。



［環境設定］ダイアログボックスは［基本設定］タブと［メール設定］タブで構成されます。
それぞれのタブの設定について、以降で説明します。

［基本設定］タブ

［基本設定］タブでは以下の設定を行います。



起動方法の設定

［スキャナ接続時に CaptureOnTouch を起動する］チェックボックスをオンにすると、コンピュータの起動時に CaptureOnTouch が起動します。

メニューバーのアイコンの表示

［ログオン時、メニューバーにアイコンを表示する］をオフにすると、メニューバーに （CaptureOnTouch アイコン）は表示されません。

バックアップ / リストア

［バックアップ］ボタンと［リストア］ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容や登録ジョブなど）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

- **［バックアップ］ボタン**
  CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル（*.reg）にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。
- **［リストア］ボタン**
  バックアップしたレジストリファイルから設定を復元します。
  複数台のスキャナーを使用している場合に、1 台のスキャナーで行った環境設定をバックアップし、他のスキャナーにリストアすることで同じ設定にできます。

［メール設定］タブ

［メール設定］タブでは、メールに添付する画像ファイルの上限を設定します。



添付ファイルの上限

［上記サイズよりも大きい場合は確認メッセージを表示する］チェックボックスをオンにすると、添付ファイルが上限サイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

- 「おまかせスキャン」の場合は、スキャンした画像のファイルサイズがここで設定したファイルサイズよりもが大きかった場合に確認メッセージが表示されます。
- 「ジョブ選択スキャン」の場合は、スキャン中に設定したファイルサイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

スキャナードライバの設定

TWAIN 互換アプリケーション（CaptureOnTouch など）で原稿をスキャンするときは、スキャナードライバを開いてスキャン条件などを設定します。ここでは、スキャナードライバの開きかたと機能について説明します。

スキャナードライバの構成

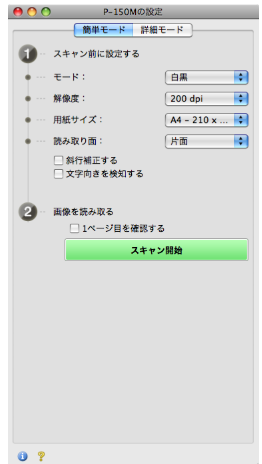
CaptureOnTouch からスキャナードライバを開いたときは、次のようなスキャナードライバの設定画面が表示されます。



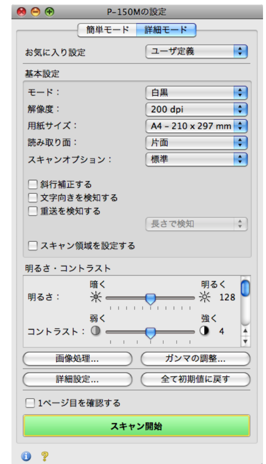
ヒント

TWAIN 互換アプリケーションからスキャナードライバの設定画面を呼び出した場合は、次のように簡単モードと詳細モードを切り替えて設定する設定画面になります。

簡単モード



詳細モード

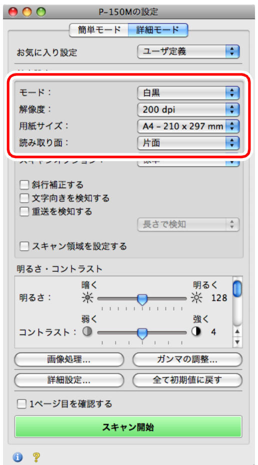


基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

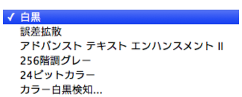
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、スキャナードライバの設定画面で「モード」、「解像度」、「用紙サイズ」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



モード

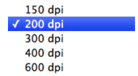
スキャンするモードを選択します。



- ［アドバンストテキストエンハンスメント II］は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- ［カラー白黒検知］は、カラー原稿の場合はカラー画像、モノクロ原稿のときは白黒画像で保存します。

解像度

スキャンする解像度を選択します。



解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。

用紙サイズ

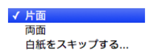
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



［自動検知］を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

読み取り面

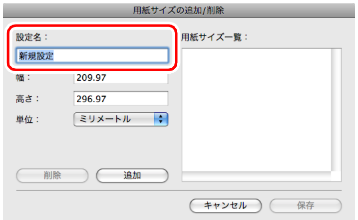
原稿をスキャンする面を選択します。



読み取り面を［白紙をスキップする］にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。
非定型サイズの原稿をスキャンするときは、[用紙サイズ] で [追加 / 削除] を選択して [用紙サイズの追加 / 削除] ダイアログボックスを表示させます。[用紙サイズ] に登録されていない用紙サイズを、名前を付けて登録できます。

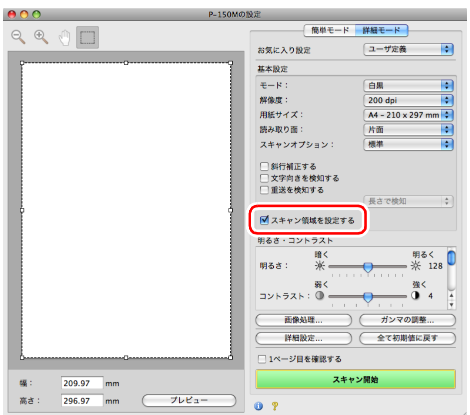


スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[スキャン領域を設定する] をオンにして、領域を指定します。



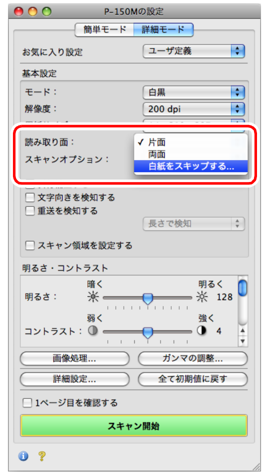
また、[1 ページ目を確認する] をオンにしてスキャンすると、原稿が 1 枚だけスキャンされ、そのスキャン画像がプレビューウィンドウに表示されます。

目的に合わせたスキャナー設定

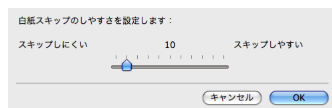
スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

両面原稿の間にある白紙ページの画像を削除したい

読み取り面の設定を [白紙をスキップする] にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。

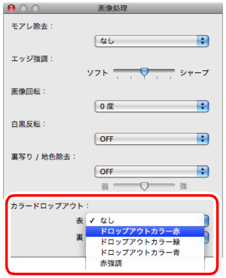


白紙スキップを選択すると、白紙と判断するレベルが調整できます。



色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでドロップアウトさせる色（赤、青、緑）を指定すると、指定した色がスキャンされません。



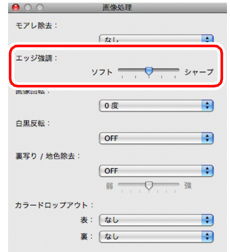
特定の色を強調させたい

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスで強調させる色（赤）を指定すると、指定した色が強調されます。



画像の輪郭をはっきりさせたい

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでエッジ強調の設定を調整します。



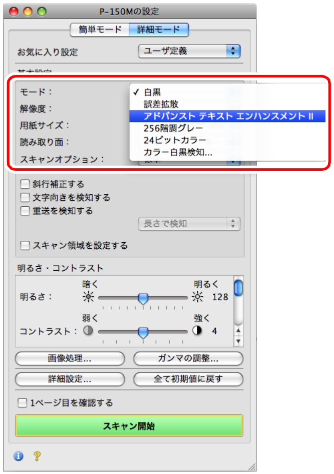
スキャンした画像を白黒反転させたい

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [白黒反転] を [ON] にします。スキャンした画像を白黒反転して出力します。



背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

モードの設定で［アドバンストテキストエンハンスメント II］を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。

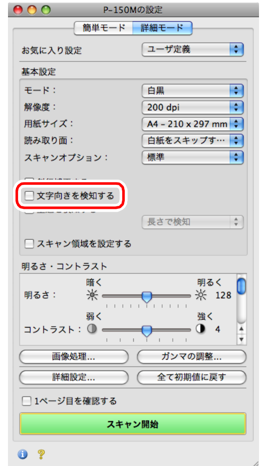


文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

［文字向きを検知する］をチェックします。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。

ヒント

［文字向きを検知する］をチェックしているときは、［画像回転］は使用できません。



横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

［画像処理］をクリックし、表示されるダイアログボックスで［画像回転］で回転させる角度を指定します。



モードの設定による機能制限

スキャナードライバの設定画面の［モード］の設定に応じて、次のようにドライバの各設定項目の一部が無効になります。

簡単モード / 詳細モード

設定値	裏面の明るさを使用する	裏面のコントラストを使用する	1 ページ目を確認する
カラー白黒検知	○	○	×
白黒	○	○	○
誤差拡散	○	○	○
アドバンストテキストエンハンスメント II	×	×	○
256 階調グレー	○	○	○
24 ビットカラー	○	○	○

（○：設定可 ×：設定不可）

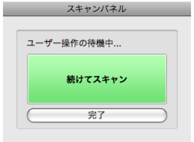
［画像処理］ダイアログボックス

設定値	エッジ強調	白黒反転	裏写り／地色除去	カラードロップアウト
カラー白黒検知	○	○	×	×
白黒	○	○	○	○
誤差拡散	○	○	○	○
アドバンストテキストエンハンスメント II	×	○	×	○
256 階調グレー	○	×	○	○
24 ビットカラー	○	×	○	×

（○：設定可 ×：設定不可）

スキャンパネル

スキャンパネルは、複数の原稿を続けてスキャンするときに、原稿の給紙やスキャンの停止などの制御をするためのソフトウェアです。
スキャナードライバの設定画面で［詳細設定］をクリックし、表示されるダイアログボックスの［給紙オプション］を［パネルで給紙］または［自動給紙］にした場合に、スキャンを開始するとスキャンパネルが表示されます。



1 つめの原稿のスキャンが終わるとすスキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。次の原稿をセットしてから［続けてスキャン］をクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。
［完了］をクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

メンテナンス

日常のお手入れ

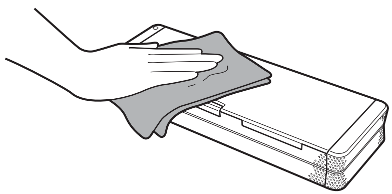
スキャンの品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

警告

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



注意

- ティッシュやペーパータオル、きめの粗い布などを使用すると表面に傷がつくため使用しないでください。
- 汚れた布は傷の原因になるため使用しないでください。

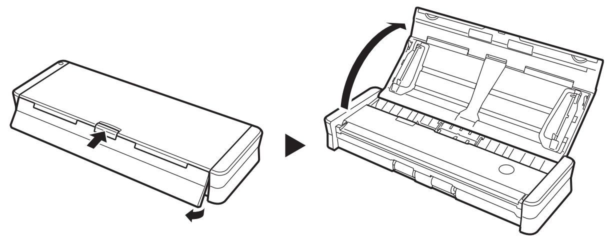
内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉は、ブロアなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナーの給紙トレイを閉じて電源を切り、すべての USB ケーブルを抜いてから、紙粉の除去を行ってください。

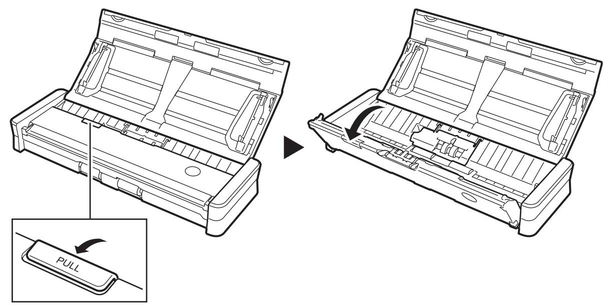
読み取りガラスとローラー、分離パッドの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラー、分離パッドが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

1 給紙トレイを開きます。



2 フィーダーカバーを開きます。

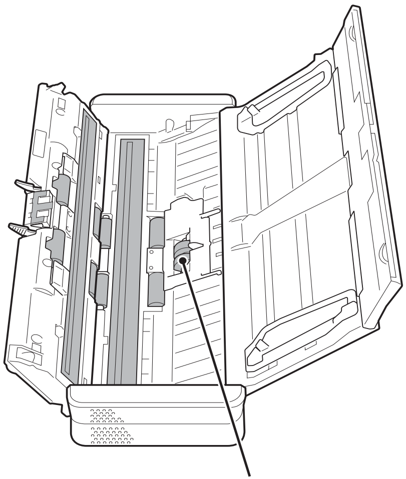


3 **内部の読み取りガラスとローラー、分離パッド（図の ▭ の部分）の汚れを落とします。**

読み取りガラスの汚れは、きれいな乾いた布で拭き取ってください。

ローラーの汚れは、水で湿らせた布で拭いて汚れを取り除いてから、きれいな乾いた柔らかい布で拭いてください。

フィードローラーは、取り外してから清掃してください。取り外しかたの詳細は「フィードローラーの交換」（77 ページ）を参照してください。



消耗品の交換

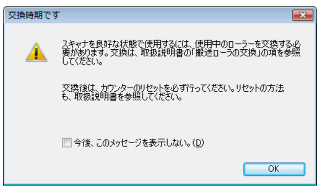
スキャナー内部のフィードローラーと分離パッドは、スキャンを重ねるにつれて磨耗します。フィードローラーと分離パッドが磨耗すると、原稿を正常に給紙できなくなり、紙詰まりの原因となります。
スキャナーの給紙性能が低下したら、フィードローラーと分離パッドを交換してください。

ヒント

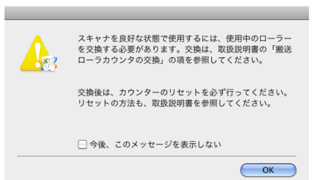
スキャナーで給紙した原稿の総ページ数が次の枚数を超えると、スキャナーをコンピュータに接続したときにメッセージが表示されます。

フィードローラー　10 万枚

Windows

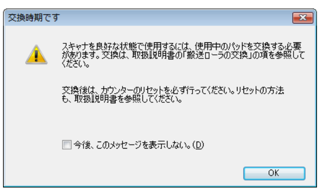


Mac OS X

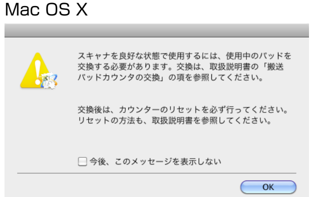


分離パッド　1 万枚

Windows



Mac OS X

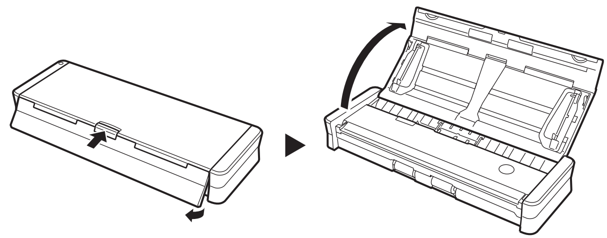


このメッセージの表示は、フィードローラーと分離パッドの交換時期の目安です。たとえば、ざらついた紙を多くスキャンした場合、フィードローラーと分離パッドは早く磨耗します。

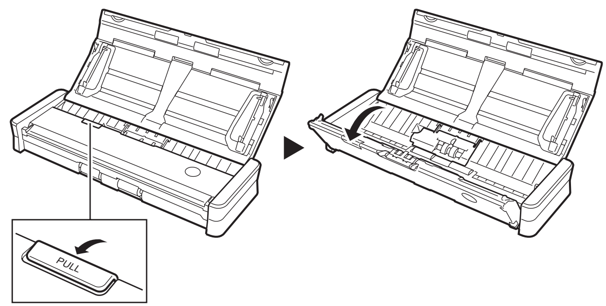
フィードローラーの交換

フィードローラーは、清掃時または交換時など、必要に応じて次の手順で取り外すことができます。

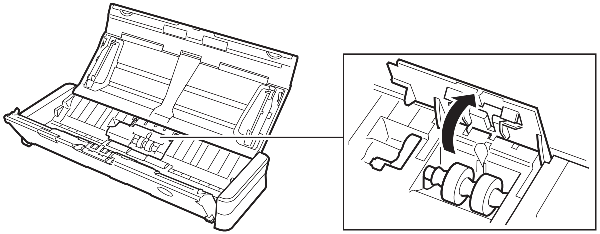
1 給紙トレイを開きます。



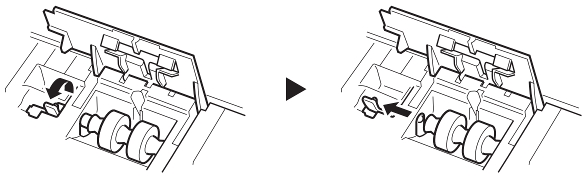
2 フィーダーカバーを開きます。



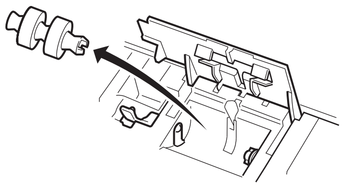
3 ローラーカバーを開きます。



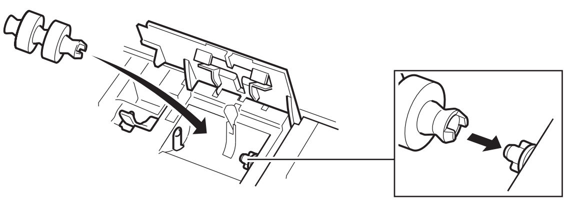
4 ローラー固定レバーを起こし、左にスライドさせます。



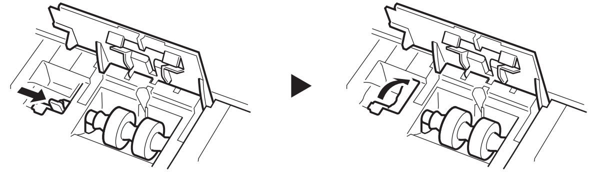
5 フィードローラーを取り外します。



6 フィードローラーを取り付けます。ローラーの切り欠き部を本体側の軸に合わせてください。

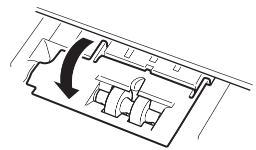


7 ローラー固定レバーを右にスライドさせて、フィードローラーの軸の左側にはめ込んでから、ローラー固定レバーを倒してフィードローラーを固定します。

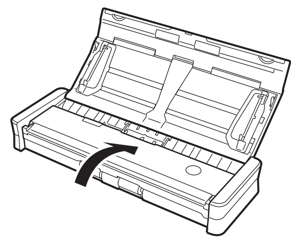


8 ローラーカバーを、カチッと音がするまで確実に閉じます。

必ずカチッと音がするまで閉じてください。確実に閉じないと給紙不良の原因となります。



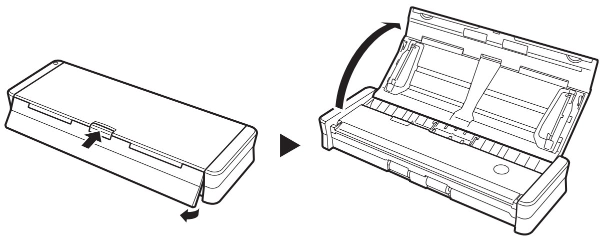
9 フィーダーカバーを閉じます。



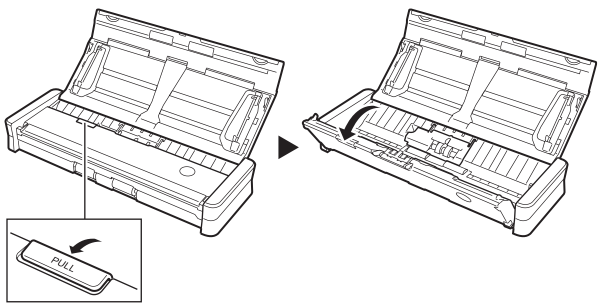
分離パッドの交換

分離パッドは、次の手順で交換できます。

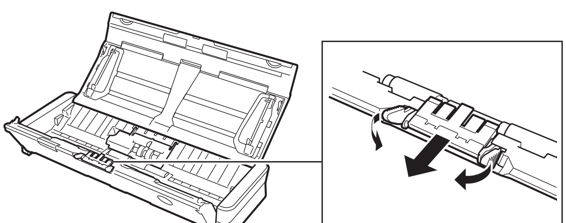
1 給紙トレイを開きます。



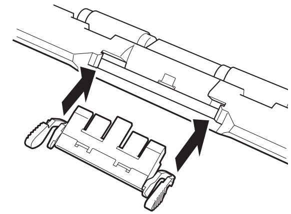
2 フィーダーカバーを開きます。



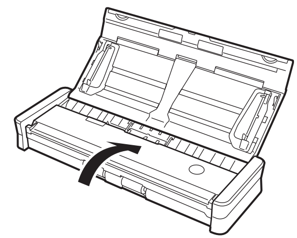
3 分離パッドを取り外します。



4 新しい分離パッドを取り付けます。



5 フィーダーカバーを閉じます。



カウンタのリセット

フィードローラーと分離パッドを交換したときは、次の手順でスキャナー内部に記録されているカウンタをリセットする必要があります。

重要

ここでは、スキャナー背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にして使用している場合の手順を説明します。
Auto Start スイッチを「ON」の位置にしているとき（CaptureOnTouch Lite のみを使用していて、CaptureOnTouch やスキャナードライバをコンピュータにインストールしていないとき）は、以降の手順でカウンタをリセットすることはできません。この場合は CaptureOnTouch Lite からカウンタをリセットできます。詳細は 28 ページを参照してください。

Windows の場合

1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。

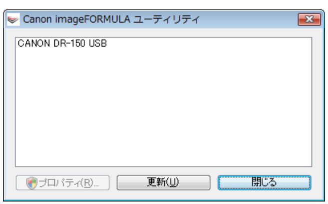
2 スキャナーの背面スイッチを「OFF」の位置にします。

3 スキャナーをコンピュータに接続します。

4 給紙トレイを開いてスキャナーの電源をオンにします。

5 ［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］、［Canon DR-150］、［ユーティリティ］の順にクリックします。

Canon imageFORMULA ユーティリティが起動します。

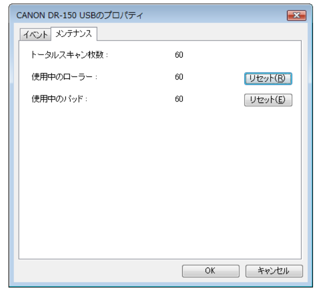


6 ［Canon DR-150 USB］を選択してから［プロパティ］をクリックします。

スキャナーのプロパティが表示されます。

7 ［メンテナンス］タブをクリックします。

8 ［使用中ローラー］と［使用中パッド］のそれぞれの［リセット］をクリックします。



［使用中ローラー］と［使用中パッド］のカウンタ値がリセットされます。

9 ［OK］をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

Mac OS X の場合

1 コンピュータを起動します。

2 スキャナーの背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にします。

3 スキャナーをコンピュータに接続します。

4 給紙トレイを開いてスキャナーの電源をオンにします。

5 CaptureOnTouch を起動します。

6 ［おまかせスキャン］タブをクリックしてから、［スキャナの設定］をクリックします。

［スキャナの設定］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［詳細設定ダイアログボックスを使う］をオンにしてから、［開く］をクリックします。

スキャナーの詳細設定ダイアログボックスが表示されます。

8 をクリックします。

［スキャナの情報］ダイアログボックスが表示されます。



9 ［メンテナンス］をクリックします。

［メンテナンス］ダイアログボックスが表示されます。



10 ［使用中ローラー］と［使用中のパッド］のそれぞれの［リセット］をクリックします。

11 をクリックして［メンテナンス］ダイアログボックスを閉じます。

12 をクリックして［スキャナの情報］ダイアログボックスを閉じます。

13 ［キャンセル］をクリックしてスキャナーの詳細設定ダイアログボックスを閉じます。

14 ［キャンセル］をクリックして［スキャナの設定］ダイアログボックスを閉じます。

トラブル Q & A

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。
問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または92 ページに記載されているサービス窓口にご相談ください。

Q1.　電源が入らない。

A1.　(1) 給紙トレイを閉じているときは、スキャナーの電源はオフになります。給紙トレイを開くと自動的に電源が入ります。

(2) USB HUB を経由してスキャナーとコンピュータを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピュータを直接接続してください。

Q2.　スキャナーが認識されない。

A2.　(1) スキャナーとコンピュータがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。

(2) スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。

(3) コンピュータのUSBインタフェースがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべての USB インタフェースでの動作を保証していません。

(4) 付属のUSBケーブルでスキャナーとコンピュータを接続していることを確認してください。市販の USB ケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。

(5) スキャナー背面の Auto Start スイッチが「ON」の位置になっているときは、本機はストレージデバイスとして認識されます。この場合、コンピュータのアプリケーションからスキャンすることはできません。

(6) Windows のデバイスマネージャを開いて、本機の表示に「?」、「!」、「×」マークが表示されているときは、デバイスマネージャ上で本機を削除し、スキャナードライバを再インストールしてください。

Q3.　CaptureOnTouch Lite が起動しない。

A3.　(1) スキャナー背面の Auto Start スイッチの位置が「OFF」になっていると、スキャナー内蔵の CaptureOnTouch Lite を起動できません。いったん給紙トレイを閉じてスキャナーの電源をオフにし、Auto Start スイッチを「ON」に切り替えてください。

(2) Windows 2000 でお使いの場合は、CaptureOnTouch Lite は自動的に起動しません。Windows エクスプローラなどで［マイコンピュータ］の下の［ONTOUCHLITE］ドライブを開き、その下にあるアイコン（ONTOUCH.exe）をダブルクリックしてください。なお、Windows Vista または Windows XP をお使いの場合でも、オペレーティングシステムの設定によっては、CaptureOnTouch Liteが自動的に起動しないことがあります。この場合も、同様に手動で CaptureOnTouch Lite を起動してください。

(3) セキュリティソフトによってUSBデバイスへのアクセスが禁止されている場合、CaptureOnTouch Lite が使用できないことがあります。

(4) Mac OS X では CaptureOnTouch Lite を使用することはできません。

Q4.　スキャナーを接続すると[自動再生]画面が表示され、CaptureOnTouchでのスキャンができない。

A4.　スキャナー背面の Auto Start スイッチの位置が「ON」になっているときは、スキャナー内蔵の CaptureOnTouch Lite でしかスキャンできません。いったん給紙トレイを閉じてスキャナーの電源をオフにし、Auto Start スイッチを「OFF」に切り替えてください。

Q5.　原稿が斜めに給紙される（スキャン画像が斜めになる）。

A5.　(1) 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。

(2) スキャナードライバの設定で［斜行補正］を有効にしてください。

(3) すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーと分離パッドを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については「消耗品の交換」(→ P.77)を参照してください。

(4) スキャナーの構造上、完全にまっすぐにはスキャンできないことがあります。

Q6.　スキャナードライバで両面スキャンを設定しているのに、両面でスキャンされない。

A6.　CaptureOnTouch で、片面のみをスキャンする設定となっているジョブを使用した場合は、スキャナードライバの設定にかかわらず常に片面のみがスキャンされることに注意してください。たとえば、CaptureOnTouch の［ジョブの登録］ダイアログボックスの［スキャナの設定］タブで片面スキャンとなるよう設定されている場合、そのジョブでは常に片面のみがスキャンされます。ジョブの設定を変更するか、両面スキャン用のジョブを作成してください。

Q7.　スキャン画像に白線 / すじが発生する。

A7.　読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

Q8.　ページが抜ける（足りない）。

A8.　スキャナードライバの［読み取り面］の設定が［白紙スキップ］に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除（スキップ）されることがあります。片面や両面など他の読み取りモードを選択するか、黒点の割合を小さくしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、「Q9. 原稿が詰まる（または重送する）」を参照してください。

Q9.　原稿が詰まる（または重送する）。

A9.　(1) 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。
(2) 一度にセットする原稿の枚数を減らしてスキャンし直してください。

Q10.　スキャン画像を JPEG 形式で保存したいのに、TIFF 形式で保存される。

A10.　スキャナードライバの設定で［モード］を［カラー白黒検知］にしてスキャンした場合、白黒と認識された原稿は設定にかかわらず自動的に TIFF 形式で保存されます。これは、JPEG 形式は白黒 2 値画像に対応していないためです。すべて JPEG 形式で保存したい場合は、［モード］を［カラー］または［256 階調グレー］に設定してスキャンしてください。

Q11.　スキャン画像が全ページバラバラの複数の文書として保存される。

A11.　CaptureOnTouch では、出力するファイル形式を TIFF または PDF にした場合に、複数ページを 1 つのスキャン画像として保存できます。この場合は、［ファイル形式］を選択した後で［詳細設定］ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで［全てのページを 1 つのファイルにする］を選択してください。

Q12.　原稿は給紙されたのに、スキャン画像が保存されない。

A12.　スキャナードライバの［読み取り面］の設定が［白紙スキップ］に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除（スキップ）されることがあります。片面や両面など他の読み取りモードを選択するか、黒点の割合を小さくしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、「Q9. 原稿が詰まる（または重送する）」を参照してください。

Q13.　JPEG 形式や BMP 形式で複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。

A13.　JPEG 形式および BMP 形式では、複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できません。TIFF 形式（または PDF 形式）で保存してください。

Q14.　ジョブ選択スキャンができない。

A14.　おまかせスキャンとジョブ選択スキャンの両方がスタートボタンに割り当てられている場合、おまかせスキャンが優先されます。ジョブ選択スキャンを割り当てたい場合は、メイン画面で「おまかせスキャンをスタートボタンに割り付ける」チェックボックスをオフにしてください。

Q15.　給紙時に異音がします。

A15.　原稿の紙の質によっては、給紙時に異音が発生しますが、故障ではありません。

ソフトウェアの操作で困ったときは

スキャンに時間がかかる。

(1) 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。

(2) システムに常駐するアプリケーション（ウィルス対策ソフトウェアなど）によってシステムのメモリが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。

(3) ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル（一時的にスキャンデータを保存したファイル）が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。

(4) コンピュータの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。

(5) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブル（Hi-Speed USB 2.0 対応）に換えてください。

(6) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない USB HUB を経由してスキャナーとコンピュータを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピュータを直接接続してください。

保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない。

(1) スキャン画像をマルチページTIFFファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。

(2) マルチページ TIFF ではない TIFF ファイルに保存した場合でも、TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CaptureOnTouch の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

Q & A（役立つヒント集）

ここでは、原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。

スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？

ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。いずれも任意のフォルダに変更できます。

- CaptureOnTouch Lite、および CaptureOnTouch のおまかせスキャンの場合は、出力設定画面で指定したフォルダに保存されます。
- CaptureOnTouch のジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に［出力設定］タブで指定したフォルダに保存されます。

スキャン設定をするにはどうすればよいですか？

- CaptureOnTouch Lite、および CaptureOnTouch のおまかせスキャンの場合は、最初のメイン画面で［スキャナの設定］ボタンをクリックし、表示される画面でスキャン設定ができます。
- CaptureOnTouch のジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に［スキャナ設定］タブで設定できます。

CaptureOnTouch で、複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？

スキャン画像のファイル形式が BMP または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。

スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「1. トラブル Q & A」の Q12. も参照してください。

スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？

CaptureOnTouch では、環境設定で設定内容をバックアップすると、スキャナー設定の内容もバックアップされます。この後の「CaptureOnTouch の設定内容のコピーやバックアップはできますか？」も参照してください。

CaptureOnTouch の設定内容のコピーやバックアップはできますか？

［環境設定］ボタンをクリックして［環境設定］ダイアログボックスを表示させると、［基本設定］タブの［バックアップ / リストア］で設定内容をバックアップしたり復元できます。

CaptureOnTouch Lite/CaptureOnTouch でスキャンした画像のファイル名は、どのようなルールで付けられるのですか？

スキャン画像のファイル名は、［ファイル名の設定］ダイアログボックスでの設定に従います。このダイアログボックスは、おまかせスキャンの出力設定画面、およびジョブの登録での［出力設定］タブで、［ファイル名の設定］ボタンをクリックすると表示されます。

このダイアログボックスにある、次の設定項目の一部またはすべてを設定することで、スキャン画像のファイル名が決まります。

設定項目	説明
ファイル名	ファイル名に付加する任意の文字列を指定できます。
日時を付加する	ファイル名に日時を付加します。リストボックスで日時の記述順を選択します。「YYYY」が年、「MM」が月、「DD」が日を表します。どの記述順を選択しても、末尾に時刻が付加されます。
ファイル名に連番を付ける	スキャン画像のページの保存順に連番を付けます。連番の桁数と開始番号を指定します。

［ファイル名の設定］ダイアログボックスの［ファイル名］には、ファイル名の設定の例が表示されます。

白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？

スキャナードライバの設定画面で［白紙をスキップする］を指定してスキャンします。

サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバの設定画面で［用紙サイズ］を「自動検知」にしてスキャンします。詳細は 48 ページ（Windows）または 69 ページ（Mac OS X）を参照してください。

写真をサイズどおりの大きさでスキャンするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバの設定画面で［用紙サイズ］を「自動検知」にしてスキャンするか、スキャンする写真と同じサイズを登録してスキャンします。詳細は 49 ページ（Windows）または 70 ページ（Mac OS X）を参照してください。

スキャンしたデータを印刷したい。

- CaptureOnTouch のおまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で［印刷する］を選択します。
- CaptureOnTouch のジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に［出力方法］で「印刷」を選択します。

スキャンしたデータを共有フォルダに保存したい。

- CaptureOnTouch Lite の場合は、出力設定画面で共有フォルダを保存先に指定します。
- CaptureOnTouch のおまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で［フォルダに保存する］を選択し、出力設定画面で共有フォルダを保存先に指定します。
- CaptureOnTouch のジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に［出力方法］で「ファイル保存」を選択し、［出力設定］タブで共有フォルダを保存先に指定します。

スキャンしたデータをメールに添付して送信したい。

- CaptureOnTouch のおまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で［メール添付］を選択します。
- CaptureOnTouch のジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に［出力方法］で「メール添付」を選択します。

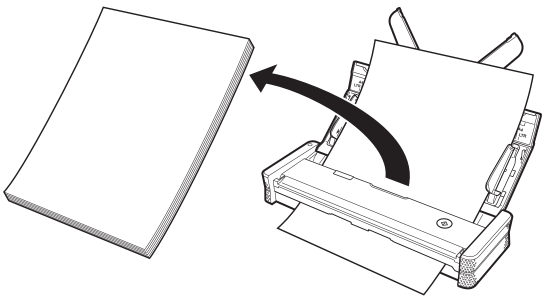
原稿が詰まったら

原稿をスキャン中に紙づまりが発生したら、以下の手順でつまった紙を取り除きます。

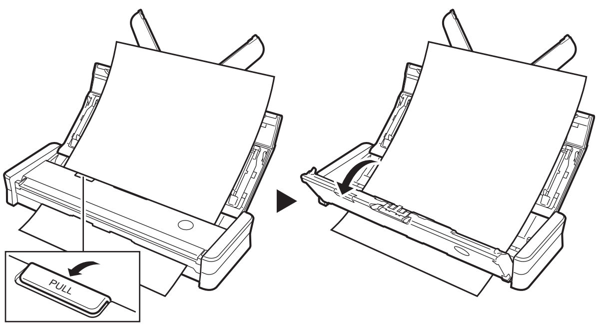
警告

つまった紙を取り除くときは慎重に取り除いてください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

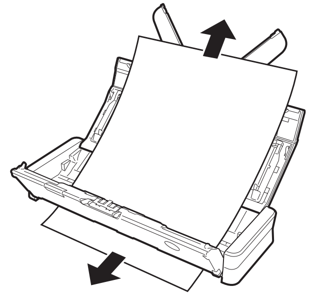
1 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



2 フィーダーカバーを開きます。



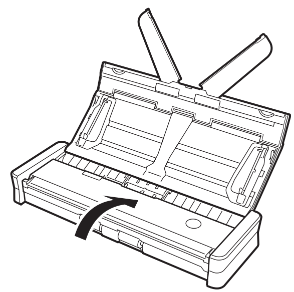
3 つまった原稿を、給紙側または排紙側から取り除きます。



重要

原稿は、無理に引っ張らず慎重に取り除いてください。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

4 フィーダーカバーを閉じます。



つまった紙を取り除いたら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

ヒント

スキャナードライバで「継続モード」を有効に設定しているときに紙づまりが発生したときは、つまったページの画像を保存せずにスキャン処理が中断されます。この場合は、紙づまりを起こした原稿からスキャンを継続できます。

ソフトウェアのアンインストール

CaptureOnTouch やスキャナードライバが正常に動作しないときは、一度アンインストールしてから、ソフトウェアセットアップディスクを使用して再度インストールすることで正常に動作するようになることがあります。この場合は以下の手順でアンインストールしてください。

Windows でのアンインストール

重要

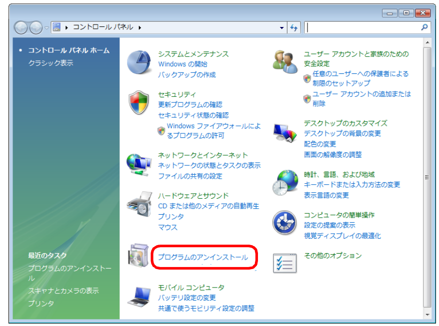
ソフトウェアをアンインストールするときは、Administrator 権限を持つユーザーアカウントでコンピュータにログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。



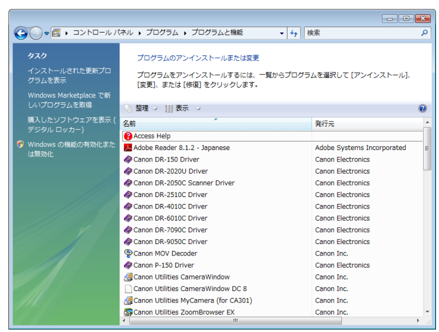
2 ［プログラムのアンインストール］をクリックします。

［プログラムのアンインストールまたは変更］画面が表示されます。



3 プログラムの一覧から、削除するソフトウェア（［Canon DR-150 Driver］または［DR-150 CaptureOnTouch)］をクリックし、［アンインストール］をクリックします。

選択されたアプリケーションの削除を確認するメッセージ画面が表示されます。



以降では、［DR-150 CaptureOnTouch］を選択した場合について説明します（［Canon DR-150 Driver］を選択した場合も手順は同じです）。

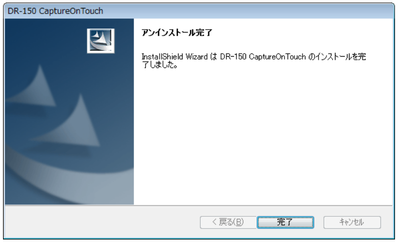
ヒント

［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックしてください。

4 **［はい］をクリックします。**



5 **［完了］をクリックします。**



これでソフトウェアのアンインストールは完了です。

Mac OS X でのアンインストール

Mac OS X 用ドライバには、アンインストーラはありません。アンインストールするには、下記のファイルを Finder などで削除してください。
スキャナードライバ：
/Library/Image Capture/TWAIN Data Sources/DR150M.ds
/Applications/Canon DR-150M
CaptureOnTouch：
/Library/Receipts/DR150M Driver.pkg
/Library/Receipts/DR150M CaptureOnTouch.pkg

仕様

本体

形式	卓上型シートスルースキャナー
読み取り原稿サイズ	
サイズ	幅：50.8 ～ 216 mm 長さ：70 ～ 356 mm
紙厚	52 ～ 128 g/m^2（0.06 ～ 0.15 mm）
給紙方法	自動
読み取りセンサ	コンタクトイメージセンサ
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面
読み取りモード	白黒、誤差拡散、256 階調グレースケール、アドバンストテキストエンハンスメント II、24 ビットカラー
読み取り解像度（主走査×副走査）	150 × 150dpi、200 × 200dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi
読み取り速度	（測定条件：CPU Core 2 Duo 1.8GHz、実装メモリ 1GB、原稿サイズ A4）

USB ケーブルのみ使用時：

グレースケール	片面	200 × 200dpi	12 枚 / 分
		300 × 300dpi	12 枚 / 分
	両面	200 × 200dpi	14 面 / 分
		300 × 300dpi	14 面 / 分
24 ビットカラー	片面	200 × 200dpi	10 枚 / 分
		300 × 300dpi	6 枚 / 分
	両面	200 × 200dpi	10 面 / 分
		300 × 300dpi	6 面 / 分

※ USB ケーブルのみ使用 / 両面スキャン時は、スキャンする原稿の種類やスキャナー本体の負荷等により消費電力量が変動し、読取スピードが変化する場合があります。

給電用 USB ケーブル併用時：

グレースケール	片面	200 × 200dpi	15 枚 / 分
		300 × 300dpi	15 枚 / 分
	両面	200 × 200dpi	30 面 / 分
		300 × 300dpi	30 面 / 分
24 ビットカラー	片面	200 × 200dpi	10 枚 / 分
		300 × 300dpi	6 枚 / 分
	両面	200 × 200dpi	20 面 / 分
		300 × 300dpi	12 面 / 分

インタフェース	Hi-Speed USB 2.0
外形寸法	280（幅）× 95（高さ）× 40（奥行き）mm
質量	約 1.0 kg
電源	
USB	USB バスより供給（通信用 0.5 A、給電用併用 1 A）
AC アダプタ（別売り）使用時	DC6 V　0.8 A
消費電力	動作時：5 W 以下 スリープモード：1 W 以下 電源オフ時：0.1 W 以下
動作音	66 dB 以下
使用環境	温度：15 ℃～ 32.5 ℃ 湿度：25%（RH）～ 80%（RH）

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

オプション／消耗品

- **分離パッド（商品コード：4179B001）**
  交換用の分離パッドです。交換方法については 79 ページを参照してください。
- **フィードローラー（商品コード：4179B002）**
  給紙用のローラーの交換キットです。交換方法については 77 ページを参照してください。
- **キャリングケース（商品コード：4179B003）**
  本製品を入れて持ち運ぶためのケースです。
- **AC アダプタ（商品コード：4179B004）**
  本製品を電源に接続して使用するための AC アダプタです。USB ケーブル 1 本の場合でも高速に動作します。

交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

- **この商品には保証書がついています**
  保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- **保証期間**
  保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
- **修理サービスのご相談**
  修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または お客さま相談センターへご相談ください。
- **修理を依頼される前に**
  「トラブルシューティング」（82 ページ）にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。
- **修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと**
  – お客様のお名前
  – ご住所、お電話番号
  – 商品の品番
  – 故障の内容（できるだけ詳しく）
- **補修用性能部品について**
  保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理受付窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。下記、修理受付窓口の受付時間は、9:00AM ～ 5:30PM です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。（ただし、サービスセンター上野、サービスセンター新宿の営業時間は、10:00AM ～ 6:00PM、休業日は日曜、祝祭日です。）また、※印のQR センター、サービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：DR-150 のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※サービスセンター札幌
TEL　011-728-0665
〒 060-0807　北海道札幌市北区北７条西 1-1-2　ＳＥ 山京ビル 1F

東北地区

※サービスセンター仙台
TEL　022-217-3210
〒980-8560　宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1　仙台パークビルヂング1F

関東・信越地区

サービスセンター上野
TEL　03-3837-2961
〒 110-0005　東京都台東区上野 1-1-12 信井ビル 1F

サービスセンター新宿
TEL　03-3348-4725
〒 163-0401　東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1F

サービスセンター横浜
TEL　045-312-0211
〒 220-0004　神奈川県横浜市西区北幸 2-6-26　HI 横浜ビル 2F

東日本修理センター
TEL　043-211-9032
〒261-8711　千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2　キヤノンMJ幕張事業所1F

※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）
TEL　0297-35-5000
〒 306-0605　茨城県坂東市馬立 (マタテ)1234　F7 棟　3F

中部・北陸地区

※サービスセンター名古屋
TEL　052-209-6000
〒 460-8532　愛知県名古屋市中区錦 1-11-11　名古屋インターシティ2F

近畿地区

※サービスセンター大阪中之島
TEL　06-6459-2565
〒 530-0005　大阪府大阪市北区中之島 6-1-21　キヤノンビジネスサポート中之島ビル 2F

中国・四国地区

サービスセンター広島
TEL　082-240-6712
〒 730-0051　広島県広島市中区大手町 3-7-5　広島パークビルヂング 1F

九州地区

※サービスセンター福岡
TEL　092-411-4173
〒812-0017　福岡県福岡市博多区美野島1-2-1　キヤノンMJ福岡ビル1F

2010 年 1 月 25 日現在　上記の内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

サービス＆サポート

● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号　050-555-90072
受付時間：＜平日＞ 9:00 〜 12:00 ／ 13:00 〜 17:00
（土日祝日と年末年始、弊社休業日は休まさせていただきます。）

※ 上記番号は 050 から始まる IP 電話（株式会社エヌ・ティ・ティエムイー（NTT-ME）の XePhion Call Direct）を利用しています。
NTT の固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4 円／ 3 分）でご利用になれます。

※ 携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合せください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承願います。

※ お客さまが 050 から始まる IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP 電話からのご利用は、IP 電話事業者間の接続状況によります。NTT-ME の XePhion Call Direct の上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合せください。IP 電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。
また、IP　電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合せください。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTT の固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156 におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ（http://cweb.canon.jp/e-support/rc/) をご参照ください、

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キヤノンホームページ　http://canon.jp/

※ http://canon.jp/support　では、製品情報、ドライバのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。

索引

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON S TOWER

PUB.CE-IJ-815